

# 2021年（令和3年）度 事業報告

---

～支え合い、助け合い、励ましあって、つながる福祉～

社会福祉法人 宇治市社会福祉協議会  
（コラボネット宇治）

## 目 次

令和3年度のふりかえり	2
第1章	
第4次地域福祉活動計画の策定及び宇治市地域福祉計画策定への参画	3
第2章	
多様性を生かした地域づくりへの働きかけ	3
第3章	
各種相談から、生活課題、地域福祉課題の把握と解決を図ります	40
第4章	
法人運営及び財務運営の強化に努めます	53

---

【アイコン表示について】各活動の財源が分かるアイコンを表示しています。

**宇治  
社協**

会費収入等の独自財源、  
基金の運用益を元にし  
て実施する事業に表示。

**赤い  
羽根**

赤い羽根共同募金の  
配分金で実施する  
事業に表示。

**歳末  
募金**

歳末たすけあい募金の  
配分金で実施している  
事業に表示。

**利用  
負担**

参加者や利用者からの  
負担金により実施する  
事業に表示。

**補助  
委託**

宇治市や京都府社協から  
の委託金や補助金、助成  
金により実施する事業に  
表示。

## 令和3年度 ふりかえり

令和3年度も、新型コロナウイルス感染症の影響を強く受ける活動状況となりました。特に、4月下旬からの緊急事態宣言では、多くの団体が総会等の実施ができず、取組みのスタートができない状況となりました。

その影響の中で、学区福祉委員会の取組みでは、担当者を中心に情報収集をしていますが、コロナ禍で活動が進みにくいことに対する不安や思いを語るができる場も設定できにくく、わたしたち宇治市社会福祉協議会の中心業務である「活動者を支えること」が滞ってしまいがちになりました。令和2年度の緊急アンケートのように、働きかけの「タイミング」等も考えていく必要を感じました。しかし、少しずつではありますが、「止めない」「孤立させない」ことを念頭に、オンラインなどを駆使して取り組む団体が出てきたり、すべてを中止せずやり方を工夫するということも行われるようになってきました。当会においても、新春福祉のつどいは形を変え、宇治福祉のつどいとして、令和3年度は表彰式典を実施しました。

地域福祉は、いろんな活動団体とつながり、情報交換することで、地域福祉課題を自分事として活動が行われていました。コロナ禍でも、生活支援体制整備事業やサロン活動支援などでは、新たなつながりづくりなども生まれ、活動者が話し合い、学び合うことで、協働して取組みが生まれたりすることもありました。今後も、より一層そのことが重要となると考えています。

ボランティア相談に寄せられる相談も、令和2年度と同じく社会や人の動きが制限され、また形が変わったことにより、今だからこそ挑戦してみたいというボランティアもあれば、コロナ禍を反映し、生活の困りごとなどに対応するための取組み参加への協力依頼などもありました。ボランティア相談以外でも、生活福祉資金やふれあい福祉センターの相談にもコロナ禍での生活不安や経済不安に起因する相談が寄せられています。

また、「何か活動をしたいけれども、今はまだできない」「コロナ禍の活動について」などの相談もあり、その中で話される内容の真意をつかみ、丁寧に対応することが必要になります。そこで、そのニーズに応じていくための職員の資質向上が必要と考え、令和3年度は、コミュニケーションや合理的配慮を学ぶ機会を設けました。

コロナ禍は見通しが立っていません。会員募集等をはじめ財源確保にも大きな影響を与えています。しかし、令和4年度も感染症対策を行いながら、地域福祉活動を取り組む団体や人と話し合い、学び合いをより一層高めて、地域福祉推進のために課題解決に取り組んでいます。

## 第1章 第4次宇治市地域福祉活動計画の策定及び宇治市地域福祉計画策定への参画

新型コロナウイルス感染症の影響を鑑みながら、第4次宇治市地域福祉活動計画の策定について協議しました。また、宇治市地域福祉計画の策定に参画しました。

### 1. 第4次宇治市地域福祉活動計画の策定及び宇治市地域福祉計画策定への参画

宇治  
社協

目 標／第4次宇治市地域福祉活動計画の策定

取組み／「地域で必要とされていること」の把握とそれに必要なこと(条件)を明らかにして、多様な市民の参加、参画の機会提供を拡充する。

新型コロナウイルス感染症拡大を受け、ワークショップ等を行うことができないことを鑑み、委員長(大谷大学 志藤修史先生)と協議の上、令和2年度の策定を1年延長することを提案し、書面にて確認をしました。しかしながら、令和3年度も二度の緊急事態宣言等を受け、なかなか「集まって」の会合ができず、策定委員会を1回(11月15日)のみの開催となりました。

その策定委員会では、コロナ禍でそれぞれの団体が感じていること、歩みを止めず続けたことを共有し、地域福祉活動の草の根的な取組みがコロナ禍だからこそ大切にされていることを共有しました。その中で、市民活動などの単位ではオンライン等を活用して、つながり方が大きくなる一方で、小地域福祉活動では、より一層小さな単位での活動が必要とされる状況が理解できました。また、これらの報告から、より小さな単位での地域福祉活動への支援の必要性を感じました。今後はその必要性を感じた部分を、どのように計画策定に盛り込むのかを検討していきます。

## 第2章 多様性を生かした地域づくりへの働きかけ

地域福祉活動やボランティア活動を推進する力の源である「人への共感」「地域への関心」を高め、活動の核となる多様な市民参画を推進します。また、住民の多様な関心や話題、作業等を結びあい、身近な地域で、安心して語りあえる場づくりの拡充に取り組みます。

宇治 補助 赤い 歳末  
社協 委託 羽根 募金

### 1. 学区福祉委員会等住民主体による活動を通じた語りあいの場づくり

目 標／身近な地域で語りあえる場づくり等からの多様な市民の参加、参画を促す。

宇治市学区福祉委員会連絡協議会と連携した活動者のすそ野拡大を目指す。

取組み／学区福祉委員会等と連携した多様な市民が参加できる場づくりの検討

学区福祉委員会連絡協議会(年2回代表者会議開催)と連携した参加者の拡大  
地域ひとつなぎ事業助成による、小地域福祉活動団体への支援

## (1) 学区福祉委員会への支援・協働

地域担当4名で宇治市内21の学区福祉委員会と1地区社会福祉協議会(西小倉学区・北小倉学区・南小倉学区)を担当して、役員会等への参加やコロナ禍での活動のあり方について情報提供を行いました。

コロナ禍以前は、学区福祉委員会のほとんどが、一人暮らし高齢者の会食会に取り組んでいました。各学区福祉委員会においては、令和2年度同様、人が多く集まる取組み、特に高齢者の会食会や住民交流の取組みは引き続き見合わせになりました。そのことは、福祉委員にとっても苦渋の決断であり、地域担当として、コロナ禍で、福祉委員の思いや不安、焦燥感、喪失感などを感じておられることを汲み取ってきました。そのために、職員は、都度幹事会や役員会に出向き、福祉委員との対話を重ね、活動のスタイルの変化への不安、活動の意義の確認に力を注ぎました。その結果、一人暮らし高齢者の会食会の「地域での孤立を防ぐ」目的は、配食、お弁当を近くの集会所等に取りに来てもらう形に変え実施ができました。

また、住民交流の活動は、学区福祉委員会単位での活動は中止等が相次いでいました。しかし、緊急事態宣言やまん延防止措置などが出されていない期間には、小規模のブロック単位での集まりが行われるなど、感染症対策に気を配りながら取組みが行われました。その一例として、サロン活動から定期的なラジオ体操に切り替えられるなどをされたところもありました。集まりが持ちにくいところは、手紙を差し入れるなども行われています。

コロナ禍で普段の活動ができないことから、改めて自分たちの活動を見直す機会とし、日ごろかかわっている高齢者へのアンケート調査をおこなった学区福祉委員会もありました。また、学区内の各種団体との情報共有の場を企画した学区福祉委員会もありました。コロナ禍で活動の制約を受けつつも、「地域での孤立を防ぐ」ことを第一義的に考え、地域福祉の推進を、学区福祉委員会とともに推進することができました。そのためには、学区福祉委員会の考え方や学区福祉委員の思いを大切にすることが大事です。そして、そこに暮らす住民の思いにも耳を傾けることも必要です。支えられる支えるの関係を超えて「おたがいさま」の思いが根付く地域づくりへの寄与が求められていることが再確認できました。

また、令和3年度は、健康上の理由等で、年度途中での役員交代があり、後を引き継がれた役員が運営面に不安を持たれる場面もありました。学区福祉委員会の成り立ちや経過、手続きが必要な補助金等の申請サポートなど、後を引き継いだ人が孤立しないよう、運営面での相談、対応も行いました。

学区福祉委員会の声として、いつも挙がるのは、「役員のなり手不足」「今の活動を引き継いでくれる人がいない」ということです。コロナ禍により、社会や地域のあり方がより一層変化している中で、今後の学区福祉委員会活動には、これまでの活動を継続するのみならず、「地域で何かしてみたい」「ボランティアに興味がある」など、多様な住民が参加しやすいようなきっかけづくりと、集まった人たちが、あれこれ地域のことを話せる場づくりが必要です。地域担当として、将来の学区福祉委員につながる人材発掘という視点からも、各学区において、多様な人が交わる場づくりを訴えながら、今後の学区福祉委員会への関わり、支援を進めます。

(役員会・幹事会、活動や協議の場への参加、対応)※主なもののみ記載

月	学区数	対応回数	主な参加、対応
4月	8	12	役員会、幹事会、総会にかかる協議、学区内サロンの見学
5月	4	4	役員会、幹事会 (Zoom 参加あり)、委員長との協議
6月	3	3	幹事会、学区役員との面談
7月	13	17	役員会、幹事会、研修打ち合わせ、学区及び包括支援センターとの協議
8月	5	7	役員会、幹事会、事業所会費依頼、サロン立上げ協議、配食活動見学
9月	12	14	役員会、幹事会、住民会費受取、共募資材伝達
10月	12	15	役員会、幹事会、友愛訪問活動への参加
11月	16	20	役員会、幹事会、歳末募金資材伝達、学区及び包括支援センターとの協議
12月	12	14	役員会、幹事会、事業所会費依頼
1月	11	14	役員会、幹事会、学区各種団体懇談会の協議
2月	6	7	役員会、幹事会、福祉農園取材
3月	11	13	役員会、幹事会、補助金に関する相談対応

(学区福祉委員委員数一覧)

(単位:名)

学区名	令和元年度	令和2年度	令和3年度
笠取	42	42	43
笠取第二	52	52	52
御蔵山	43	43	41
宇治	100	99	97
岡屋	64	54	54
南部	83	81	80
三室戸	73	81	78
菟道	78	74	70
菟道第二	121	118	117
神明	90	91	87
大開	56	54	50
大久保	76	56	58
西大久保	74	73	55
平盛	37	36	36
伊勢田	80	78	77
西小倉	12	12	12
北小倉	29	27	26
南小倉	14	15	14
小倉	92	78	84
槇島	77	77	75
北槇島	37	35	36
合計	1,330	1,277	1,242

(令和3年度学区福祉委員会総会開催状況)

	対面開催	書面報告または中止
令和元年度	21学区	0学区
令和2年度	10学区	11学区
令和3年度	7学区	14学区

(学区福祉委員会が行う小地域福祉活動への各種補助金)

名称	①福祉活動費
目的	地域の特性や事情に応じた活動が展開できるよう、運営面での支援を図る
使途	学区福祉委員会の運営費、活動費
内容	学区福祉委員会を通じて、市内の各自治会・町内会に依頼をして、協力いただいた会費の20%を、学区福祉委員会の運営費として交付しています。また、学区福祉委員会を通じて協力のあった事業所会費の40%を運営費として交付しています。

名称	②事業費補助金
目的	地域の特性や事情に応じた、小地域福祉活動の推進を図る
使途	小学校区ごとに特色のある地域福祉活動を展開するための活動費
内容	1学区あたり、4事業までの実施で上限175,000円を交付 (A区分3事業150,000円、B区分1事業25,000円)
活動例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学区福祉委員会による広報紙の発行</li> <li>・和太鼓の練習会を通じ、子どもの協調性を育てながら、地域住民と子どもたちとの交流の場づくり</li> <li>・学区内にある、ふれあいサロン同士の連絡会の実施</li> <li>・一人暮らし高齢者宅を訪問しての近況聞き取りアンケートの実施</li> <li>・安心カードを高齢者世帯に配布しながら、日頃からの顔の見える関係づくり</li> <li>・学区内の障害者福祉施設への支援、交流活動</li> <li>・伝承遊び等を通じた学区内の小学校、幼稚園、保育園児と高齢者の交流活動</li> <li>・短時間でできるラジオ体操を取り入れ、毎月、屋外にて住民が集まれる場の開催</li> <li>・学区内の75歳以上高齢者を対象に、防災グッズを配付して、防災意識の向上と福祉委員とのつながりを絶やさない活動</li> </ul>

名称	③一人暮らし高齢者訪問活動事業補助金
目的	一人暮らし高齢者等の訪問活動を通じて、高齢者の見守りの拡充を図る
使途	月1回以上の訪問や生活支援時に配布する記念品等に要する費用
内容	1年を通じて見守り、声かけを行った対象者1人につき年額1,000円を補助
活動状況	年度当初に見守り対象として把握した一人暮らし高齢者等に対して、学区福祉委員が日常生活の中での見守りや声かけによる安否確認を行っています。コロナ禍で、見守りが必要と思われる状況の方が増えている点から、令和2年度に比べ対象者数が増えている学区福祉委員会もあります。一方で、当初は、見守り対象となっていた方が、年度途中で転居や親族との同居、施設入所等、何らかの理由で、訪問活動の対象から外れることがあり、結果として、令和2年度に比べ対象者数が減少した学区もあります。

(学区別一人暮らし高齢者等訪問事業実績)

(単位:名)

学区名	令和元年度	令和2年度	令和3年度
宇治	171	177	194
岡屋	102	100	89
南部	148	138	134
菟道	156	138	161
菟道第二	144	147	147
神明	175	175	204
大開	113	113	108
大久保	23	22	21
西大久保	101	94	87
伊勢田	122	132	124
小倉	185	174	159
西小倉地区社協	89	86	77
槇島	235	259	260
訪問対象者数	1,764	1,755	1,688

名称	④一人暮らし高齢者等給食サービス事業補助金
目的	一人暮らし高齢者等の給配食活動を通じて、高齢者の社会参加や孤立予防を図る
使 途	一人暮らし高齢者等の孤立予防や見守りを兼ねた会食会、配食活動に要する費用
内 容	1食あたり350円の補助
活動状況	<p>年度当初に給食サービス事業対象として把握をした一人暮らし高齢者等に対して、会食会への参加呼びかけを行いながら、孤立予防や声かけが行われてきましたが、コロナ禍で大勢が集まる会食会の開催が困難となる中、これまでのつながりを絶やさないために、会食会を配食に切り替え、一人暮らし高齢者等が孤立しないよう働きかけがされています。新型コロナウイルス感染症拡大予防により、令和2年度は、給食サービス活動自体の見合わせや、配食活動への切り替えに時間を要した学区福祉委員会がありました。令和3年度に食数が増えている要因としては、新たに配食活動をスタートした学区福祉委員会や、より小地域単位での配食回数の増加、見守りの対象となっている高齢者に、ご近所の集会所にお弁当を取りに来ていただき、短時間でも福祉委員と顔を合わせる機会を増やした学区福祉委員会もあることが主な理由です。一方で、令和2年度に比べ、食数が減っている学区福祉委員会については、活動を予定していたものの、緊急事態宣言の発令のタイミングと合わせ、一時、活動を中止せざるを得なかったことが要因となっています。</p>



(学区別一人暮らし高齢者等給配食サービス事業実績)

(単位:食)

学区名	給配食実績数(食)		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
御蔵山	144	141	141
宇治	1,032	1,156	1,374
岡屋	156	63	125
南部	345	-	225
三室戸	581	594	585
菟道	74	177	184
菟道第二	233	243	178
神明	843	618	579
大開	356	258	165
大久保	259	52	233
平盛	190	-	-
伊勢田	131	-	-
小倉	622	387	542
西小倉地区社協	1,618	-	-
槇島	1,200	869	1,101
北槇島	145	-	51
合計	7,929	4,558	5,483

名称	⑤歳末たすけあいふれあい事業補助金
目的	一人暮らし高齢者等の年末・年始の激励を通じて、孤立予防を図る 安心、安全な地域づくりのために必要な、住民同士のつながりや交流を図る
使途	年末、年始に行われる高齢者等への見守り活動、住民交流事業に要する費用
内容	対象者一人につき年額1,000円(上限150人分)または、1学区福祉委員会 上限130,000円(住民交流事業の場合)
活動例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミニお節と年賀状配布による年末の声かけ訪問活動</li> <li>・ご近所の集会所にて、激励品を配布しながら、受取りに来られた一人暮らし高齢者への年末の声かけ、安否確認。</li> <li>・学区内の福祉施設で作られたおせち料理を持参しての声かけ活動</li> <li>・小学校での左義長の実施による住民交流活動(コロナ禍では開催自粛)</li> </ul>



「みんなで Zoom 体験」研修会



身近な集会所に立ち寄っていただき、短時間での交流活動

## (2) 木幡学区内での住民交流拠点づくりと社協出張相談の場の検討

令和2年度に引き続き、木幡学区福祉委員会解散後の取組みとして、木幡地域の“いま”や“思い”を語り合い、「こんなのがあればいいな」「こんな活動ができたらいいな」を共有し、学び合う懇談会を、毎月18日に定例で開催しました。

また、木幡学区内の住民誰でもが立ち寄り、交流や情報交換を行ったり、志を同じとする人同士で、新たな動きや活動を生み出していくきっかけづくりとなる交流拠点の開設を第4土曜日に定め実施しました。(第2章第15に詳細を記載)

定例懇談会は、新型コロナウイルス感染症の影響で会場が使えない時は、Zoom によるオンラインでの開催や対面と Zoom によるオンラインの両方を取り入れて開催する工夫を行いました。

### (木幡地域懇談会参加メンバー)

六地蔵駅前の花壇整備などをされているグリーンボランティア/地域のふれあいサロン活動者/地元の民生委員/介護者家族の会や地元の木幡区の役員/木幡学区ウォークラリーへの参加を機につながった人

### (開催内容) (参加者には事務局人数含まず。事務局は毎回2~5名参加)

日 時	①令和3年4月18日(日)14:00~16:00 ②令和3年6月26日(土)13:30~16:30 ③令和3年7月18日(日)13:30~16:30 ④令和3年8月18日(水)13:30~16:30 ⑤令和3年9月18日(土)13:30~16:10 ⑥令和3年10月18日(月)13:30~16:00	⑦令和3年11月18日(木)13:30~16:00 ⑧令和3年12月18日(土)13:30~16:30 ⑨令和4年1月18日(火)13:30~16:30 ⑩令和4年2月18日(金)13:30~16:00 ⑪令和4年3月18日(金)13:30~16:00
場 所	①、②、③、⑧、木幡地域福祉センター ④、⑥、⑦、⑨コミュニティワークこはた館 ⑤ Zoom にてオンライン開催 ⑩ Zoom とコミュニティワークこはた館の混合 ⑪ 六地蔵南集会所	
目 的	地域住民の思いを形にしながら、地域に関心を持つ参加者の輪を広げる。 居場所(毎月第4土曜日)の開催について企画を行う。	
参加者	①7名 ②9名 ③8名 ④8名 ⑤7名 ⑥8名 ⑦7名 ⑧9名 ⑨9名 ⑩6名 ⑪7名	
内 容	①~⑪を通じて ・木幡地域懇談会の方向性の確認 ・木幡地域懇談会の名称を、「ふらっと立ち寄れる場づくり」「立場に関係なく誰もがフラットに話せること」を由来に「コラボプラザ~ふらっとこはた~」に決定。 ・LINE ビジネスを活用した情報集約・発信 ・懇談会参加者同士にて、木幡学区内の身近な情報やできごとの共有 ・交流の場の具体的な内容、準備に向けての意見交換	
実施して	地域の福祉課題に限らず、住民同士で、地域のことについて、フラットに語り合い、学び合い、共にやってみるを繰り返す場をつくり、自らの意志で地域活動に参加してくれる人の輪を広げていくことを目標に懇談会を行いました。毎回、木幡地域でのできごとを共有したり、住民に関心を持ってもらうための企画やアイデアを出し合いました。 第4土曜日の交流の場の開催に向けて、自身が持つ特技を活かす取組みを企画したり、地元の協力者に呼びかけるといった動きがありました。	

### (3) 地域ひとつなぎ事業助成による、小地域福祉活動団体への支援

喜老会活動や地域での住民支え合い活動等の小地域福祉活動の実施により、人と人とのつながりづくりを進める活動に対して、京都府社会福祉協議会からの助成金を通じた活動支援を行いました。

#### (令和3年度 地域ひとつなぎ事業の助成状況)

	団体名	戸別 訪問	配食	電話	その他	助成額(円)
1	特定非営利活動法人善法雇用促進協議会	○				40,000
2	南遊田第一喜老会	○				20,000
3	アルス・シルバー会	○			○	20,000
4	名木喜老会	○		○	○	20,000
5	南部学区福祉推進委員会	○	○			40,000
6	南陵町喜楽会	○	○	○		30,000
7	槇島東喜老会	○				20,000
8	神明学区福祉委員会	○	○	○		40,000
9	小倉喜老会	○		○	○	20,000
10	きらきらクラブ	○	○		○	30,000
11	城南荘喜老会	○			○	30,000
12	砂田喜老会	○	○	○		20,000
13	伊勢田喜老会	○	○	○		30,000
14	西大久保自治喜老会	○	○	○	○	30,000
15	宇治学区福祉委員会	○	○	○	○	40,000
16	神明栗駒喜老会	○		○		20,000
17	サポータセンターきんと雲	○		○	○	30,000
18	西岡屋喜老会	○	○	○	○	20,000
19	南大久保喜老会	○		○	○	20,000
20	西小倉地区寿喜老会	○		○	○	20,000
21	心ぽかぽか和みの会	○		○	○	30,000
22	宇治市傾聴ボランティアサークル「かかし」	○				20,000
23	志津川喜老会	○				20,000
24	おりさか悠々クラブ	○	○			30,000
計	24団体	24	10	14	12	640,000

### (4) 学区福祉委員会連絡協議会への支援

学区福祉委員会連絡協議会の事務局として、代表者会議(2回)の運営を支援し、当会からの運営費補助を元に下記の事業に取り組むとともに、外部団体(宇治市要保護児童対策協議会、宇治市共同募金委員会、宇治市地域福祉推進委員会)への委員を選出しました。学区福祉委員強化月間(3月1日～3月31日)として、福祉委員募集ポスターを各学区福祉委員会に配布するとともに、市政だよりへの掲載(3月15日号)、社協だより(3月15日号)で福祉委員募集の記事掲載やFMうじへの出演を行いました。高齢化等の理由により、年間で71名の福祉委員の退会があった一方で、強化月間中に、36名の新規加入がありました。また、各学区福祉委員会同士にて、即時的に情報共有するためのLINEアカウントを作成していましたが、それを各福祉委員に伝えるための広報物も作成しました。

### (代表者会議)

日時	①令和4年1月31日(月)18:30~20:20 ②令和4年3月24日(木)18:30~20:00
場所	①、②宇治市産業会館
目的	各学区福祉委員会がどのような取組みを行っているのか、学区福祉委員会連絡協議会としてどのような事業が必要かについて確認する
参加者	①学区福祉委員会代表者17名(17学区)、事務局3名 ②学区福祉委員会代表者22名(20学区)、事務局5名
内容	①各学区福祉委員会の活動の共有、令和3年度の事業計画・予算について ②各学区福祉委員会の活動の共有、福祉委員募集の強化月間についてと今年度の他の取組みについて
実施して	第1回目の会議の開催が遅くなり、具体的な令和3年度事業の取組みが難しくなりました。LINEでの情報共有を円滑に行うためにポストカードを作成しました。他の学区福祉委員会が新型コロナウイルス感染症の拡大を予防しながら、どのように活動しているかなど、より一層の状況共有を図ります。

### (福祉委員の募集の強化月間)

日時	令和4年3月1日(火)~31日(木)
目的	福祉委員を募集し、活動の後継者や、活動に参加する市民の裾野を広げる
参加者	21学区福祉委員会
内容	①社協だより 3月15日号 掲載 ②市政だより 3月15日号 掲載 ③各学区独自の広報紙の作成 ④ポスター掲示物の配布 ⑤FMうじへの出演
実施して	福祉委員募集の強化月間を通じての加入は36名、年間を通しての退会者は71名でした。

## 2. サロン活動の相談・支援

補助 歳末  
委託 募金

目標/活動をしやすい環境を整え、サロン活動を通じて地域福祉への参画を募る。

取組み/サロン活動者の支援としての研修会の実施

サロン活動に関する情報提供

助成金を活用したコロナ禍での活動状況調査

令和3年度も、コロナ禍で集会所等の会場が使えない時期もあり、サロン活動を自粛せざるを得ない状況が続きましたが、試行錯誤しながら、つながりを絶やさない活動(訪問活動や電話、オンラインツールを活用した見守りなど)が行われました。室内で活動を実施する場合は、マスク着用、手指の消毒、人数制限や二部制・時間短縮など、感染対策をしながら開催されました。また、室内ではなく公園など屋外での活動を積極的に取り入れられたサロンもありました。コロナ禍で「対面でのコミュニケーションの大切さを改めて感じた」という声もあり、厳しい状況下でも地域の方々とのつながりを大切にされていることがわかりました。しかし一方で、コロナ禍を機に活動を終了されるサロンもありました。

## (1) サロン助成金交付推移と一覧

令和3年度は、103グループからサロン申請(助成金申請サロン88件、登録のみサロン15件)があり、88ヶ所のサロンに助成金交付を行いました。その後、新型コロナウイルス感染症の影響や参加者の減少を受けて、活動を見合わせたサロンが4件ありました。また、年度途中で活動を休止した登録サロンが1件ありました

### (サロン登録内訳) 全体103ヶ所

(単位:箇所数)

サロン分類	高齢者	障害者	子育て	多世代(高齢・障害・子育て・児童)	その他
箇所数(割合)	78(75.7%)	1(1%)	10(9.7%)	13(12.6%)	1(1%)

### (サロン登録数及び助成金交付の推移)

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
助成金総額(円)	3,283,000	3,100,000 (返金後額) 3,052,194	2,750,500 (返金後額) 2,652,500
登録数( )内は登録のみサロン数	110(8)	104(8)	103(15)
新規登録数	8	2	3

※助成決定額:年度当初に申請を受けて決定した額/助成確定額:年度終了時の活動実績に基づいて確定した額

### (登録・助成金交付サロン一覧)

	登録	サロン名	類型	会場校区	助成決定額(円)	助成確定額(円)
1		榎島ホットサロン	テーマ	榎島	37,000	37,000
2		HOTふれあいサロンかようかい	地縁	小倉	55,000	55,000
3		一福会	地縁	南部	37,000	31,000
4		野神ふれあいサロン	地縁	菟道第二	19,000	19,000
5		うたごえ喫茶のびのび	テーマ	宇治	13,000	13,000
6		ホットサロンやすらぎ	地縁	榎島	37,000	37,000
7		風車の会	地縁	宇治	19,000	19,000
8		Hot!ふれあいサロン「京かのこ」	地縁	木幡	13,000	13,000
9		ミニホットサロンひまわり	地縁	大久保	19,000	19,000
10		サロン広芝	地縁	宇治	19,000	19,000
11	○	御蔵山サロン	地縁	御蔵山	-	-
12	○	明星ホットサロン	地縁	三室戸	-	-
13		サロンピノキオ	地縁	木幡	19,000	19,000
14		HOT 蔭山サロン	地縁	小倉	19,000	19,000
15		ほっとふれあいサロンひまわり	地縁	宇治	10,000	10,000
16	○	よもやま会	地縁	北小倉	-	-
17		おこしやす	地縁	宇治	25,000	25,000
18		ともしび	地縁	西大久保	43,000	43,000
19		HOTふれあいサロン権現	地縁	菟道第二	19,000	19,000
20	○	HOT!ふれあいサロンユートピア	地縁	御蔵山	-	-

21		フレンドサロン	地縁	南部	19,000	19,000
22		南山ふれあいサロン	地縁	御蔵山	37,000	37,000
23		もみじ会	地縁	大久保	19,000	19,000
24	○	わかば会	地縁	榎島	-	-
25		折鶴サロン	地縁	菟道	36,000	36,000
26		どんぐりっこ	テーマ	伊勢田	55,000	55,000
27		喜楽会	地縁	榎島	19,000	19,000
28		ポヨポヨキッズ	テーマ	菟道第二	37,000	37,000
29		わんぱくクラブ	テーマ	大久保	55,000	55,000
30		ドラえもんサークル	テーマ	小倉	55,000	55,000
31		サロンお茶の子会	地縁	南部	19,000	19,000
32		ほっこりスペース あい	テーマ	御蔵山	55,000	55,000
33		HOTふれあいサロンあじさい	地縁	小倉	49,000	49,000
34		Toddlers ～トドラーズ～	テーマ	小倉	55,000	55,000
35		華連グループ	地縁	神明	19,000	19,000
36		むらさき気楽会	地縁	榎島	55,000	55,000
37		ホットサロンゆうゆう	地縁	岡屋	24,500	24,500
38		ズンドコサロン	地縁	西大久保	30,000	30,000
39		ふれあいサロンやよい	地縁	木幡	19,000	19,000
40		フリースペース「おやすみ」	テーマ	西小倉	55,000	55,000
41		白寿お茶飲み会	地縁	宇治	21,000	21,000
42		くりくま健功会	健康	大久保	55,000	55,000
43		楽しく料理を作ろう会	テーマ	北榎島	19,000	19,000
44		北榎ハーモニー	地縁	北榎島	36,000	36,000
45		イキイキ教室203	健康	小倉	31,000	31,000
46		サロン妙楽	地縁	菟道	19,000	19,000
47		北内Hot!ふれあいサロン	地縁	榎島	25,000	25,000
48		子育てママのアカラグループ Twinkle Tweety	テーマ	岡屋	19,000	19,000
49		サロン車田	地縁	南部	19,000	19,000
50		ハモフレ	テーマ	神明	49,000	43,000
51		開ひまわり会	健康	神明	37,000	37,000
52		井戸端かふえ・まんぷくじゃ	テーマ	宇治	13,000	13,000
53		丸山はづきの会	地縁	南部	19,000	19,000
54		下村ほっとサロン	地縁	榎島	25,000	13,000
55		ホットふれあいサロンつるかめ	地縁	榎島	19,000	19,000
56	○	ほっとほっとサロン	地縁	宇治	-	-
57		色えんぴつ	地縁	御蔵山	55,000	55,000
58		多文化コミュニティグループ さらだぼうる	テーマ	菟道第二	0	0
59		おやこサロン にこにこたち	テーマ	菟道第二	19,000	19,000
60		ワクワク光	地縁	菟道	19,000	19,000
61		サロン榎の島	地縁	榎島	25,000	25,000

62	○	サロンふれあいの森	地縁	北横島	-	-
63	○	ふれあいひろば	地縁	岡屋	-	-
64		冒険遊び場うさぎはらっぱであそぼうよ	テーマ	宇治	19,000	19,000
65		天神台ふれあいサロン絆	健康	神明	43,000	43,000
70		Hot!ふれあいサロン田原	地縁	西大久保	19,000	19,000
67	○	友和会	健康	小倉	-	-
68		サロン白川	地縁	菟道	25,000	25,000
69		ふれあいサロン川東	地縁	菟道	37,000	0
70		サロン絆	地縁	伊勢田	31,000	31,000
71	○	菟道北ふれあいサロン	地縁	宇治	-	-
72		サロンいきいき	健康	横島	55,000	55,000
73		文化サロン「ゑん」	テーマ	大久保	19,000	19,000
74		落合元気アップ教室	健康	北横島	31,000	0
75		サロン「水仙」	地縁	神明	19,000	19,000
76		福寿会	地縁	南小倉	13,000	13,000
77		あおぞら会	健康	木幡	0	0
78		ユニ宇治ふれあいカフェ	地縁	岡屋	19,000	19,000
79		放課後山の遊び場 KULKUL	テーマ	笠取第二	55,000	49,000
80		アルス、シルバー会	テーマ	木幡	31,000	31,000
81		羽戸山サロン	地縁	宇治	49,000	49,000
82		Hot 蔭山縁が和サロン	地縁	小倉	37,000	37,000
83	○	なかよし会	健康	木幡	-	-
84		ホットサロン月夜	地縁	横島	37,000	37,000
85	○	イキイキの会	健康	横島	-	-
86		南陵台ふれあいサロン「和み」	地縁	小倉	55,000	55,000
87	○	わかさ会	健康	菟道	-	-
88		城南荘 木曜カフェ	地縁	大開	37,000	37,000
89		金曜サロン	地縁	岡屋	55,000	55,000
90		サロン山の家	テーマ	笠取	55,000	55,000
91		かもめサロン麻雀倶楽部	地縁	大開	37,000	37,000
92		カフェすみやま	テーマ	笠取第二	31,000	31,000
93		笑う門には福来るの会	健康	神明	19,000	19,000
94		南陵町健康サロン「健やか」	健康	小倉	43,000	43,000
95		楽楽クラブ	テーマ	菟道	37,000	37,000
96		むらさき気楽会(木曜日)	健康	横島	55,000	55,000
97		サロンおこしやす	地縁	神明	19,000	19,000
98	○	サロン神明	地縁	神明	-	-
99		ユニエスさくら	健康	菟道第二	55,000	55,000
100	○	みんなのおうちカフェ 空	地縁	南小倉	-	-
101		南陵台友愛サロン「フレンズ」	地縁	小倉	25,000	25,000
102		サロン巨椋	地縁	横島	37,000	37,000
103		しゃべり場カフェ	テーマ	宇治	12,000	12,000



## (2) サロン交流会の開催

コロナ禍で対面での活動に制限を受ける中、サロンで活躍しているボランティアととの交流会を行いました。「コロナ禍の今できるサロン活動を考えよう」というテーマで、3カ所のサロン訪問報告やコロナ禍で行っている活動や工夫など、今できるふれあいサロンの活動について、グループでの意見交流を行いました

### (サロン交流会の実施)

※ボランティア研修会の一部としての実施

日時	令和3年11月15日(月) 14:00~16:00
場所	生涯学習センター 第1ホール
目的	コロナ禍だからこそ、改めてふれあいサロン活動の意義を感じてもらい、前向きに活動を継続する意識を持ってもらうこと。また、自身のサロン活動での悩み事を他のサロンに相談・共有することで、今後の活動に活かしてもらうこと。
参加者	34名
内容	「サロン交流会 ~突撃!隣のサロンさん~」 3カ所のサロン訪問報告、グループに分かれコロナ禍での活動の工夫や活動をしてよかったことなどについて意見交換
実施して	サロン訪問報告後のグループでの意見交換では、それぞれのサロン活動での工夫や、課題に感じていることについて様々な意見が出ました。コロナ禍のためサロン活動中に飲食ができないことへのさみしさや、積極的に活動ができないことへのもどかしさを感じておられる声がありました。一方で、屋外や広い場所での活動を取り入れるなど、コロナ禍でも活動を継続するための工夫をしているという意見も多く、改めてサロン活動の意義を感じてもらえたと思います。



サロン交流会の様子

## (3) サロン活動者懇談会の実施

ふれあいサロン活動者同士が主体的に日頃の思いや悩み、課題等を共有できる場づくりの一つとして、市内のふれあいサロンのネットワークづくりを目的に、趣旨に賛同いただいたサロン活動者による懇談会を実施しました。

### (サロン活動者懇談会)

日時	令和4年3月1日(火) 10:00~12:00
場所	宇治市総合福祉会館
目的	サロン活動での日頃の思いや悩み、課題等を共有できるよう、サロン活動者の主体で進める市内のふれあいサロンのネットワークづくり
参加者	11名(9サロン)



内 容	①サロン活動で困っていることについて ②次回の意見交流テーマについて
実施して	お互いサロン活動をされている同士での懇談であったため、サロン運営にかかる困りごと、参加者の中で共有しやすい雰囲気でした。今後は、参加者自らがお互いに懇談のテーマ出しができるよう、サロン活動者の主体的な参加の場づくりにつなげていきます。

### 3. 住民と協働による宇治ボランティア活動センター運営による地域福祉の推進

宇治 補助  
社協 委託

目 標／住民主体による運営への支援と地域福祉推進としての連携協働を図る。

取組み／住民との協働によるボランティア活動センターの運営

宇治ボランティア活動センターとの連携により、若年層、働く世代の参画のあり方を検討

#### (1) 宇治ボランティア活動センター運営委員会へのかかわり

宇治ボランティア活動センター（以下、活動センター）では、毎月役員会と運営委員会が定例開催されています。当会事務局からは担当者と業務係長が、役員会への出席、運営委員会への情報提供、活動センター宛の文書の受付や他機関からの依頼事項の伝達、催しの広報活動、各種申請手続き、運営委員間の連絡調整等を行いました。当会としては、市民とのパートナーシップを大切にしたい、活動センターの協働運営に重点を置いていることから、運営委員が主体的に活動センターを運営するために必要な支援や、当会の取組みへの参加協力の調整を行いながら、地域福祉の推進やボランティア活動の拡充を行っています。

令和3年度もコロナ禍で、社会や人の動きが制限された中で時間が生まれ、今だからこそ新しいことにチャレンジしようという思いから「ボランティア活動してみたい」という相談が多く見られました。活動センターに登録しているボランティア団体は、コロナ禍でも活動を再開された団体もありましたが、社会福祉施設の多くでは、ボランティアの受入れを見合わせていました。だからこそ、感染対策に配慮しながら継続されていることも食堂や子育て支援のNPOなど、当会が日ごろやり取りをしている団体にボランティア活動者を受入れていただきました。また、当会が実施している介護予防普及啓発事業に参加してもらうなどの調整を行いました。

また、フードパントリー事業への協力提案、新たな市民向けの清掃ボランティア活動の準備対応、他団体の催しへのボランティア募集協力、若年層とつながるためのボランティア募集のチラシ作成や大学生のおしゃべりの場づくりの提案を行いました。清掃ボランティア活動の実施やフードパントリーへの協力では、初めてボランティアに参加する活動者も多く、新たな活動者とのつながりができました。大学生など多世代との交流では、ボランティア相談に来た大学生を中心として、活動センターが若年層との関わりを持てるきっかけとなりました。

日常生活のちょっとした困りごとのお手伝いをする活動である活動センター生活応援隊の稼働に向けて、当会として、市内の地域支え合い活動団体の情報提供や、生活応援隊のPRチラシによる学区福祉委員会等への広報、市民からのニーズ受付に必要な携帯電話の契約と貸与手続きなど、活動がスムーズに進むための準備・調整を行いました。

今後の活動センターの運営においては、約190名の個人登録ボランティアを始め、ボランティア活動を希望する人に対して、誰もが参加できるボランティア活動の機会をさらに増やしていくとともに、活動への参加をきっかけに、地域福祉活動やボランティア活動に主体的に参画してもらえ人とのつながりづくりが大切です。

## (2) 活動センターの運営委員会との協働による取組み概要

実施日(頻度)	事業名	実施場所
毎月1回	役員会	総合福祉会館
毎月1回	運営委員会(オンライン併用)	総合福祉会館
毎月11日	イエローレシートキャンペーン →新型コロナウイルス感染症拡大予防のため店頭での啓発活動は中止	イオン久御山
年数回	宇治市災害ボランティアセンターへの参画	総合福祉会館
奇数月	情報紙「パートナー」発行	総合福祉会館
奇数月第2日曜日	ボランティアマッチングサロン →5月、9月は、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止	総合福祉会館
例年6月予定 (中止)	宇治市障害者スポーツ大会への協力 →新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止	西宇治体育館
例年6月予定 (中止)	団体・個人登録者会館清掃交流 →新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止	総合福祉会館
6月~12月	京都文教大学ボランティア演習による学生受入れ →春学期、秋学期	総合福祉会館
8月~	NPO 法人セカンドハーベストによるフードパントリーへの協力	宇治市内等
10月1日(木)	赤い羽根共同募金への協力 →街頭募金活動への参加・グループ募金協力	宇治市内等
10月29日(金)	宇治市社会福祉協議会 宇治福祉のつどい参加	パルティール京都
11月~	宇治市社協との協働による大学生とのつながり作り ・大学生ボランティア募集のチラシ作成と大学内ボランティアセンターへの訪問 ・大学生のおしゃべりの場への参加、協力	宇治市内等
11月19日(金) 26日(金)	「はじめよう!セカンドライフ」講座	生涯学習センター
11月23日(火)	宇治青少年会議所主催のワンリンクフェスタへの協力 (個人登録者へのボランティア募集と当日のスタッフ)	西宇治公園
12月3日(金)	宇治市健康長寿サポーター ステップアップ講座でのボランティア活動センターの紹介	宇治市役所
12月5日(日)	清掃活動ボランティア	西宇治体育館
2月11日(金) (中止)	バリアフリー映画上映会 →2月実施予定で準備を行うも、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度中の開催は中止	生涯学習センター
2月26日(土)	令和3年度 健康長寿フェス2022での展示・相談コーナーへの参加	生涯学習センター
2月27日(日) (中止)	ボランティアフェスティバル&思いの駅伝 →新型コロナウイルス感染症拡大のため中止 ※宇治市自立支援協議会として、これまでの思いの駅伝の動画は継続して作成中	総合福祉会館

#### 4. 加入団体と連携した宇治市災害ボランティアセンターの運営

目 標／日常の延長上にある「災害時」を意識し、災害時にも強いまちづくりに寄与する。  
取組み／総会や訓練、運営委員会において災害時を意識した「日常の関係づくり」の構築

災害時に、個人、地域、団体、組織等のつながりの力を活かせるよう、日ごろからの様々な「顔の見える関係づくり」を理念に掲げていましたが、令和3年度も、令和2年度同様、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、総会が書面審議となりました。また、運営委員会はすべてオンライン併用で実施しています。

令和2年度と比較して令和3年度はオンライン等を併用して研修会を開催したり、地域のイベントでのPR活動も一部再開できるなど、状況を鑑みての活動を行いました。

##### (1) 運営体制の強化

###### (総会)

書面での議決とし、6月に案内し、全団体から同意を得ました。また、アンケートを実施し、加入団体の意見を聞くなどの取組みを行いました。当災害ボランティアセンターと加入団体との連携を模索する意味で実施しましたが、コロナ禍で総会や研修会ができていないこともあり、団体の状況なども変化する中、改めて加入団体とのつながりづくりの必要性を感じました。

###### (運営委員会)

日 時	①令和3年 8月17日(火) 18:30~19:45 ②令和3年11月 5日(金) 19:00~20:30 ③令和4年 1月13日(木) 19:00~21:00 ④令和4年 3月23日(水) 19:00~20:50
場 所	宇治市総合福祉会館／オンライン
参加者	①会場参加 9名 オンライン参加6名 欠席2名 ②会場参加 8名 オンライン参加4名 欠席5名 ③会場参加 9名 オンライン参加5名 欠席4名 ④会場参加10名 オンライン参加5名 欠席3名
内 容	①令和3年度事業計画の確認 ②SNS研修会に向けた確認と助成金の申請について ③講演会に向けた確認と助成金の申請について ④次年度の事業計画案について
実施して	令和3年度も、オンライン併用で実施しました。会議運営の在り方やオンライン併用での会議の効率化など、コロナ禍でもチャレンジし続けています。令和3年度は、コロナ禍でも歩みを止めることなく、研修や講演会などの企画立案も行うことができ、最終の会合でも、「コロナ禍でも訓練等は続けるべきだ」などの積極的な意見もあり、その声を次年度以降も活かしていきます。

### (運営委員研修会)

日時	令和3年12月4日(土)13:30~16:00
場所	宇治市総合福祉会館
内容	「知って触って楽しんで~SNSの便利さを知ろう~」 講師 特定非営利活動法人まちづくりねっと・うじ
参加者	運営委員9名 加入団体11名
実施して	災害ボランティアセンターの運営には、SNSが不可欠になっています。今回は初歩として、SNSの種類と一部のSNSの使い方を学びました。また、人数を限定する形で、加入団体にも参加者を募りました。 初めて触るという人から、仲間内の連絡には活用しているが今まで詳細を聞いたことがないという人までおられました。災害ボランティアセンターのSNSのあり方なども探りながら、今後も継続してSNSの使い方と発信などを含めて検討を進めます。



SNSの活用を学ぶ研修会の様子

### (全体研修会)

日時	令和4年2月6日(日)13:30~15:30
場所	宇治市総合福祉会館・オンライン
内容	最後の一人まで~大阪北部地震の経験に学ぶ~ 講師;北おおさか社会福祉士事務所 <small>さむらこうち つとむ</small> 佐村河内 力氏 大阪北部地震での茨木市災害ボランティアセンターの運営についての講演
参加者	会場 運営委員10名、加入団体15団体 24名 そのほか・個人4名 オンライン 運営委員1名 加入団体7団体17名 そのほか2名
実施して	当初は、講演会後参加者同士で意見交換をしたかったのですが、まん延防止措置の期間中でもあり、講演会のみで実施しました。参加者受付では、コロナ禍での災害ボランティアセンターの災害時の運営を想定し、できるだけ非接触で行う受付を試みたり、オンラインの参加やサテライト会場を設け、コロナ禍でもできることを模索しての取組みとなりました。加入団体の中には、地域福祉センターに集まって、オンライン中継にて講演を聴くという方法をトライする団体もあり、災害ボランティアセンターが、いろんな「チャレンジ」ができる場になっています。



全体研修会の様子

### (地域へのPR活動)

令和3年度、宇治市防災訓練や地域での防災訓練は中止されましたが、一般社団法人宇治青年会議所主催の「ワンリンクフェスタ 2021」にて、災害ボランティアセンターとしてパネル展示を行いました。当日は、リーフレットを約 500 枚配布し、来場した親子連れに災害ボランティアセンターのPRを行いました。

## (2) 京都府災害ボランティアセンターへの協力

### 【京都府災害ボランティアセンターへの運営委員としての参画】

日時	場所	内容
令和3年 4月19日(月) 16:00~17:10	ハートピア京都	第1回運営委員会
令和3年 7月13日(火) 18:00~19:10	オンライン参加	第2回運営委員会
令和3年 9月27日(月) 15:00~16:00	ハートピア京都	第3回運営委員会
令和3年10月 7日(木) 15:00~16:00	オンライン参加	訓練研修部会
令和3年11月10日(水) 10:00~13:30	オンライン	第4回運営委員会
令和4年 1月18日(火) 18:00~19:15	ハートピア京都	第5回運営委員会
令和4年 3月30日(水) 10:00~11:10	オンライン	第6回運営委員会

### 【京都府災害ボランティアセンター総会】

日時	場所	出席者
令和3年 6月 5日(土) 13:30~14:40	ハートピア京都	1名

### 【京都府災害ボランティアセンター研修会への参加】

日時	場所	内容/参加者
令和3年 6月 5日(土) 15:00~16:40	ハートピア京都 /オンライン	全体研修会/2名
令和3年11月16日(火) 10:00~16:30	京都テルサ	初動支援チームフォローアップ研修・災害支援コーディネーター養成講座/1名
令和4年 3月14日(月) 18:00~19:00	オンライン	組織基盤強化学習会/2名

### 【京都府災害ボランティアセンター調査への協力】

京都府災害ボランティアセンターからの依頼で、資機材の所有状況の調査依頼があり、回答をしました。その際には、資機材の整備以上にコロナ禍でより一層 ICT 化の流れが進んでいる現状を踏まえ、それらに対する助成などについて意見を添えて提出しました。

## 5. 当事者団体の支援を通じての地域生活支援

赤い補助  
羽根委託

目 標/当事者団体による情報発信を支援し、当事者および当事者のサポート活動を行う。  
多様な市民の輪を広げる。

取組み/助成金等を活用した当事者団体の運営相談支援

宇治市介護者の会と連携した在宅高齢者介護者リフレッシュ事業の実施



## (1) 当事者団体への支援

宇治市共同募金委員会が実施する「赤い羽根コラボ助成(第3章記載)」と連携協働して支援を行いました。宇治市からの補助による「宇治市福祉未来基金地域共生社会推進事業(第3章記載)」や当事者の声を活かした介護者リフレッシュ事業を始めとする取組みを実施しました。また、新たな団体を立ち上げたいという相談が寄せられることがありました。

## (2) 在宅高齢者介護者リフレッシュ事業の実施

在宅高齢者介護者リフレッシュ事業は、市内の要支援や要介護認定を受けている高齢者を在宅で介護されている人たちのリフレッシュと、介護者同士の相互交流を目的に年6回開催の予定で企画・準備を進めました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により、交流企画4回のうち2回実施となりました(緊急事態宣言による中止2回。1回は規定人数に応募人数が達せず中止)。レクリエーション企画は2回の実施という結果となりました。

いずれの企画においても、宇治市介護者(家族)の会の参画のもと実施しました。交流の時間等での進行をはじめ、企画段階から様々なご協力をいただきました。

令和3年度も市政だより・社協だよりへの掲載、チラシでの案内、公共施設での配架などの方法で周知を図りました。福祉サービス関係者を通じての介護者への情報発信を重点化したことに加え過去の参加者にもダイレクトメールで案内をしました。

コロナ禍での開催となり、総じて参加者は多くはありませんでしたが、健康状態の急変から突然家族を介護することになり、整理できない気持ちを吐露したり、家族介護であるからこそ葛藤や思いを語ったりする時間となりました。宇治市介護者(家族)の会の皆さんの経験やお力を借りながら、その思いに耳を傾け、互いに気持ちを共有しあう時間を持つこともできました。

### (宇治市在宅高齢者介護者リフレッシュ事業)

企画種別	回数	開催日	内容	定員	参加者数
交流企画	第1回 (中止)	6月11日 (金)	知っているようで知らない宇治まちあるき～花も団子も～(中宇治地域散策) →緊急事態宣言を受け中止	30	-
	第2回 (中止)	9月3日 (金)	宇治市産業会館を予定 フラワーアレンジメント(苔テラリウム)と交流 →緊急事態宣言を受け中止	40	-
	第3回 (中止) ※第1回目の代替	11月9日 (火)	知っているようで知らない宇治まちあるき～花も団子も～(中宇治地域散策) →応募数が規定を下回り中止	30	-
	第4回	12月6日 (月)	宇治市総合福祉会館にてフラワーアレンジメント(苔テラリウム)と交流	40	12
	第5回	3月25日 (金)	中宇治BASEにて映画鑑賞と介護者同士の交流	40	8
レクリエーション企画	第1回	10月18日 (月)	バスで道の駅京丹波味夢の里へ、車内での交流	20	20
	第2回	11月21日 (日)	宇治市文化センターにて落語会「桂米朝一門会」鑑賞	35	10
				235	50



フラワーアレンジメントでの交流会



映画鑑賞と介護者同士の交流会

## 6. 生活支援体制整備事業を通じての対話と協働による地域福祉の推進

補助  
委託

目 標／地域福祉課題の発掘と解決に向けた学び合いの場を創る。

取組み／宇治市地域の支え合い仕組みづくり会議（地域版）の運営

宇治市地域の支え合い仕組みづくり会議の運営

対話と協働を作るための学び合いの場づくり

平成29年度より宇治市から、宇治市生活支援体制整備事業を受託しています。地域における高齢者の生活支援体制の整備を推進するため、生活支援コーディネーター（以下、SC）業務ならびに協議体の設置をすすめています。第1層協議体戦略会議、生活支援体制整備事業事務局会議において、宇治市、宇治市福祉サービス公社（以下、公社）と共に情報共有と協議を行いながらすすめています。

令和3年度は、昨年度から引き続き、当会にはSCを3名（第1層3名、1層及び2層兼務で2名）配置し、公社にも3名設置されました。第2層の担当圏域は、当会のSCが6圏域、公社のSCが2圏域（中宇治・西宇治）を担当しています。

第2層圏域の地域では、新型コロナウイルス感染症予防に留意しながら、ラジオ体操を継続されているところなど、コロナ禍における「人のつながりの大切さ」につながる取組みを主体的に継続されるなど、地域で話し合う「場」から生まれた取組みが徐々に広がっていると感じる年となりました。

第2層の地域の支え合い仕組みづくり会議（地域版）の取組みは、少しずつ輪が広がっています。宇治市長との懇談会なども開催でき、取組みの成果を可視化もできました。取組みの濃淡はあるが、地域包括支援センターとの連携も強化されました。地域の支え合い仕組みづくり会議（地域版）への参加だけでなく、地域包括支援センターの取組みや社会福祉法人からの依頼で参加することもあり、少しずつSCの役割が浸透してきています。第2層の充実とともに、第1層での情報共有にも厚みが出てきたと考えています。当初目指していたプラットフォーム型の情報共有の会議に近づいてきていると感じています。

一方で、関わっている第2層の地域の支え合い仕組みづくり会議（地域版）は、地域包括支援センターと連携できているが、その地域が限定されています。まだ連携できていない地域包括支援センターとも協議体運営ができるように働きかけていく必要があります。

第2層の地域の支え合い仕組みづくり会議（地域版）では、「住民主体」を意識し、SCの主導に陥らないように進めていく必要があります。住民主体の取組みは、住民が自分たちで決めて自分たちで実行していくところであるという部分を念頭に置き、SCとして、関係機関と連携を図っていく認識と役割を高めていく必要があります。

**(事務局会議)**

日 時	①令和3年 5月21日(金) 9:30~12:10 ②令和3年 6月29日(火) 9:30~11:30 ③令和3年 7月 6日(火) 9:10~11:00 ④令和3年 9月29日(水) 14:00~15:30 ⑤令和3年11月24日(水) 14:00~15:30 ⑥令和4年 1月25日(火) 9:30~11:30 ⑦令和4年 3月 7日(月) 9:30~11:30
場 所	宇治市総合福祉会館
参加者	SC6名(公社3名、当会3名) 宇治市3名
目 的	生活支援体制整備事業委託業務及び協議体運営にかかわる事項の協議
実施して	年度当初に生活支援体制整備事業の一年間の計画を立て、SCより各事業の実施報告、情報共有を行いました。この事務局会議を通じて、生活支援体制整備事業の遂行とそれぞれの業務分担の内容理解に努めました。

**(戦略会議)**

日 時	①令和3年 7月16日(金) 13:30~15:30 ②令和3年10月14日(木) 9:30~11:00
場 所	宇治市総合福祉会館
参加者	初田座長、山本副座長、SC6名(公社3名、当会3名)、宇治市3名
目 的	「宇治市地域の支え合い仕組みづくり会議」(第1層協議体)についての協議
実施して	令和3年度の「宇治市地域の支え合い仕組みづくり会議」(第1層協議体)の内容について協議を行いました。「第1層協議体の活動の改善のために」の提案が座長よりありました。そのことを意識しつつ、市と調整を行いながら第1層協議体を進めていくこととしました。市民の意見も大切にしつつ、取組んでいくことで住民主体を伝えていきます。

**(宇治市地域の支え合い仕組みづくり会議(第1層協議体)1回目)**

日 時	令和3年8月6日(金) 14:00~16:00
場 所	宇治市生涯学習センター 第1ホール
参加者	構成員17名、オブザーバー2名、地域福祉課1名、自治振興課1名 長寿生きがい課5名、社協1名 公社 SC2名 社協 SC3名
目 的	多様な関係主体間の定期的な情報共有及び連携・協働による取組を推進する場とし、市全域における支え合いの仕組みづくりについて検討します。
内 容	・情報提供 ・グループワーク~生活支援活動における課題解決の実践~ (話題提供) 母子草、キャンナス宇治 (意見交換テーマ) ①地域における活動の仲間づくり ②利用希望者との上手な関わり方 各グループ発表とまとめ
実施して	市内で、同じような思いを持って、支え合いに取り組んでいる支援団体同士で、日頃の喜びや悩みを共有できる場を作っていくことで、活動団体が孤立しない寄りどころづくりも、今後、大切なポイントであることが共有できました。



(宇治市地域の支え合い仕組みづくり会議(第1層協議体)2回目)

日時	令和4年3月16日(水)10:00~12:00
場所	宇治市産業会館多目的ホール
参加者	構成員18名、登壇者4名、地域福祉課1名、長寿生きがい課6名、社協1名、公社 SC2名、社協 SC3名
目的	多様な関係主体間の定期的な情報共有及び連携・協働による取組を推進する場とし、市全域における支え合いの仕組みづくりについて検討します。
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回のふりかえり</li> <li>・今年度の活動報告</li> <li>・地域の課題解決に向けた取組について(話題提供)</li> </ul> <p style="text-align: center;">琵琶台地区 <sup>じーあんどびー</sup>琵琶台G &amp; B、北槇島地区 <sup>おでん</sup>北槇ODEN</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意見交換(グループワーク)及び質疑応答</li> <li>・宇治市からの報告</li> </ul>
実施して	第1層仕組みづくり会議の構成メンバーだけでなく、第2層として地域づくりを協議している方たちの参画の機会にもつながりました。グループワークでは、地域と行政等との協働、横と縦のつながりが大事なことが分かりました。また、助け合いの仕組みづくり、情報共有、話し合う場の大切さを改めて認識できる機会となりました。特徴的なご意見として、大学生との連携、多世代間の協働への関心の話がありました。



第1層構成団体による意見交換  
(第1回仕組みづくり会議)



第2層地域の取組みの発表  
(第2回仕組みづくり会議)

【宇治市地域の支え合い仕組みづくり会議(地域版)(第2層協議体)の取組み】

(やまびこ〜紫ヶ丘を住みやすくする会〜)

日時	①令和3年 4月16日(金)14:00~16:00 ②令和3年 6月29日(火)14:00~16:00 ③令和3年 7月28日(水)14:00~15:45 ④令和3年10月15日(金)14:00~16:00 ⑤令和3年11月 8日(月)10:00~11:30	⑥令和3年12月15日(水)14:00~15:30 ⑦令和4年 1月14日(金)14:00~15:30 ⑧令和4年 2月18日(金)14:00~15:30 ⑨令和4年 3月14日(月)14:00~15:30
場所	紫ヶ丘集会所	
目的	紫ヶ丘地域の困りごとなどを話し合う機会をもち、住民自治による福祉活動への機運を高める。	
参加者	紫ヶ丘地域の住民8名、槇島地域包括支援センター1名、長寿生きがい課2名、社協 SC2名	
内容	買い物について話し合い、アンケートを実施しその結果をもとに移動販売を誘致しました。	
実施して	住民を主体とし、アンケートを地域のサロンを中心に自主的にとられ、移動販売の駐車場所も地域の方から地域の方へとお願いをされ、自主的な活動となっています。買い物の課題解決のために移動販売車の誘致を行いました。	



紫ヶ丘地域の住民による懇談会



紫ヶ丘地域での移動販売の様子

(北横 ODEN)

日 時	①令和3年 6月11日(金) 13:30~16:00 ②令和3年 7月 9日(金) 13:30~15:00 ③令和3年10月19日(火) 10:00~12:15 ④令和3年11月19日(金) 15:00~17:00 ⑤令和3年12月24日(金) 14:00~16:00	⑥令和4年 1月18日(火) 14:00~16:00 ⑦令和4年 2月 7日(月) 10:00~12:00 ⑧令和4年 3月 4日(金) 10:00~12:00 (京都文教大学KASNEOとコラボ) ⑨令和4年 3月11日(金) 10:00~12:00
場 所	グリーントウン榎島中央集会所	
参加者	グリーントウン榎島地域の住民4名、都市再生機構(UR)3名、京都文教大学2名、榎島地域包括支援センター1名、グループホーム1名、デイサービス1名、長寿生きがい課2名、社協 SC2名	
目 的	グリーントウン榎島地域で、地域の困りごとなどを話し合う機会をもち、住民自治による福祉活動への機運を高める。	
内 容	地域住民、UR、京都文教大学、福祉関係機関等が連携し、地域課題について話し合いました。移動販売車の誘致や大学生との協働、URの協力の元、地域づくりを進めました。	
実施して	話し合いが始まり、1年未満ですが、会議を重ねるごとに地域の課題に向けて解決へと進んでいます。URの協力をはじめ、行政、大学、多様な職種が集まり、住民と共に大きな力となっています。京都文教大学とのコラボで仲間づくりを行い話し合う仲間も増えました。買い物の課題解決をする為に移動販売車の誘致を行いました。	



グリーントウン榎島地域での移動販売の様子



大学生による高齢者への地域生活の聞き取り

(北畠ラルゴ木幡) (北畠懇談会(仮称)全体会ミーティング)

日 時	①令和3年 4月23日(金) 10:00~11:30 ②令和3年 5月13日(木) 14:00~15:30 ※市政だより取材 ③令和3年 6月22日(火) 10:00~12:00 ※市長とのミーティング打ち合わせ ④令和3年 6月25日(金) 9:30~12:00 ぶらきらこ、市長とのミーティング ⑤令和3年 7月16日(金) 10:00~11:30 ⑥令和3年 10月1日(金) 10:00~12:00 ⑦令和3年 11月5日(金) 10:00~12:00	⑧令和3年 12月3日(金) 10:00~11:30 ⑨令和3年12月11日(土) 12:30~15:30 パッチワークにチャレンジ☆もらってください! 捨てるのもったいないしな~市 ⑩令和4年 1月14日(金) 10:00~12:00 ⑪令和4年 1月20日(木) 10:00~12:00 ぶらきらこパート2 ⑫令和4年 2月25日(金) 10:00~11:30 ⑬令和4年 3月18日(金) 10:00~12:00
場 所	木幡北畠集会所	
目 的	木幡北畠地域で、地域の困りごとなどを話し合う機会をもち、住民自治による福祉活動への機運を高める。	
参加者	北畠地域の住民7名、東宇治北地域包括支援センター3名、 長寿生きがい課2名、社協1名、社協 SC2名	
内 容	北畠住民の力を活かし、ともに地域を学びあい、「北畠ラルゴ木幡」を知ってもらう機会を実施しました。話し合うメンバーが増え、多くの地域の声を聴くことができるようになりました。	
実施して	地域包括支援センターとの連携から、住民の話し合いの場をSCが担うようになり、信頼関係も構築できています。地域から声が上がリ、地域交流や学びあう場の機会を設定することもできました。住民の力が発揮され、地域の力が増えています。 協議体として3年が経過しました。SCが場を支えることは必要ですが、地域住民が主体となった話し合いの場をどう継続していくのが課題です。住民同士や専門職が自然と話し合えるようにするには、テーマ設定などでなく、対話の中から次のテーマを決めていけるようなしかけと、その対話の中に住民と専門職が主体的に参加できるようにする働きかけを生活支援コーディネーターとして心がけていくべきだと考えます。	

(パワーアップこわた)

日 時	①令和3年11月25日(木) 14:30~16:00 ②令和3年12月16日(木) 14:30~16:00 ③令和4年 1月27日(木) 14:30~16:00	④令和4年 2月24日(木) 14:30~16:00 ⑤令和4年 3月25日(金) 14:30~16:00
場 所	ハーモニーやまはた	
参加者	木幡区住民 7名 東宇治北地域包括支援センター2名 交通政策課 2名 長寿生きがい課 3名 社協 SC1名	
目 的	木幡区を中心に地域の困りごとなどを話し合い、住民自治による福祉活動への機運を高める。	
内 容	移動支援を軸に地域の困りごとを話し合う。	
実施して	住民の声から話し合う場を設定することができました。また、もともとかわりのあった東宇治北地域包括支援センターの圏域でもあり、会場の設定などの協力を得られました。話し合いの場を設定し、メンバーが「出入り自由」な「プラットホーム型」の会議設定となっているので、多様な人が意見を言いやすい場が設定できています。 メンバーが出入り自由な形のため、協働で何かを作り上げる形にはなっていません。しかし、話し合いを中心とする中で、多様な意見を取り入れることができ、まずは「対話」を重視しているためだと理解しています。	

(府営西大久保団地)

実施日	①令和3年 6月10日(木) 13:30~16:30 ②令和3年 8月20日(水) 13:30~16:00 ③令和3年11月26日(金) 13:30~16:00
場 所	全て、府営西大久保団地 第1集会所
目 的	府営西大久保団地にお住まいの方から、「府営団地の中に、住民の身近な居場所をつくりたい」という思いがあり、SC と意見交換しながら進めたいとの相談があったことを受け、住民同士の交流を通じて、地域の中での「お互いさま」が生まれる場づくりを進める。
参加者	府営西大久保団地地域の住民11名、南宇治地域包括支援センター1名、SC3名
内 容	住民同士の意見交換を中心に実施した。既に具体的な住民交流の場づくりが始まり、第4金曜日の午後が定例となっています。今後は、SCをはじめとする各種団体と連携を図っていくことが今後求められます。
実施して	既に具体的な住民交流の場づくりが始まり、第4金曜日の午後が定例となっています。3月からは地域の子どもと一緒に食事をする子ども食堂も開始されました。今回の居場所づくりにあたり、キーパーソンの思いを聞き取ってきましたが、今後もSCが意見を聞きながら、住民と地域包括支援センターや社会福祉協議会と連携していく必要性があります。

(小地域包括ケア会議への参加)

圏域	日 程	場 所	参加者
槇島	令和3年 7月30日(金)	槇島コミュニティセンター	1名
東宇治北	令和3年10月 8日(金)(オンライン)	宇治市総合福祉会館	2名
南宇治	令和4年 1月27日(木)(オンライン)	宇治市総合福祉会館	1名
南部・三室戸	令和4年 3月10日(木)(オンライン)	宇治市総合福祉会館	1名

地域の人の声を直接聞く事ことの大切さを改めて感じました。

(自立支援型ケア会議への参加)

圏域	日 程	場 所	参加者
西宇治・南宇治	令和3年 5月12日(水)(オンライン)	宇治市総合福祉会館	2名
北宇治・槇島	令和3年 6月 9日(水)(オンライン)	宇治市総合福祉会館	2名
中宇治・東宇治南	令和3年 7月14日(水)(オンライン)	宇治市総合福祉会館	2名
南部三室戸・東宇治北	令和3年 8月11日(水)	うじ安心館	2名
西宇治・南宇治	令和3年 9月 8日(水)(オンライン)	宇治市総合福祉会館	2名
北宇治・槇島	令和3年10月13日(水)	うじ安心館	1名
中宇治・南部三室戸	令和3年11月10日(水)	うじ安心館	1名
東宇治北・東宇治南	令和3年12月 8日(水)	うじ安心館	1名
西宇治・南宇治	令和3年12月22日(水)	うじ安心館	1名
北宇治・槇島	令和4年 1月26日(水)	宇治市総合福祉会館	1名
東宇治北・東宇治南	令和4年 3月16日(水)	宇治市総合福祉会館	1名

自立支援型ケア会議に参加し、専門職の多様な視点でのケース検討の場に参加 SCとして地域活動を支える視点からの意見を伝えました。

### （「気かけ合う地域づくり」勉強会の実施）

講演先	日程	場所
脳活性化教室	令和3年 4月 8日(木)	東宇治地域福祉センター
ほっとサロンつるかめ	令和3年 7月 15日(木)	槇島コミュニティセンター
脳活性化教室	令和3年10月14日(木)	東宇治コミュニティセンター
脳活性化教室	令和3年10月26日(火)	東宇治コミュニティセンター
紫ヶ丘やまびこ	令和4年 1月 14日(金)	紫ヶ丘集会所

お互いに気かけ合う地域づくりの大切さを知っていただき、支え合い助け合いの地域づくりを考えるきっかけになっています。令和3年度は、脳活性化教室においても実施し、クイズ等を出题する工夫をして「地域づくり」の大切さを参加者に伝えました。

### （研修会への参加）

日程	研修名	参加者
令和3年10月12日(火)	第1回生活支援コーディネーターカフェ(WEBセミナー)	2名
令和3年10月20日(水)	支え合いをひろげる住民主体の生活支援フォーラム(オンライン)	1名
令和3年10月22日(金)	第14回全国校区・小地域福祉活動サミット in 北海道(オンライン)	1名
令和3年10月23日(土)	第14回全国校区・小地域福祉活動サミット in 北海道(オンライン)	1名
令和3年10月22日(金)	自治体向け地域包括ケア実践セミナー(オンライン)	1名
令和3年12月 8日(水)	令和3年度 生活支援体制整備推進のための研修会	1名
令和4年 1月 19日(水)	令和3年度 近畿ブロック地域支え合い推進セミナー	1名

そのほか、近隣の社会福祉協議会のSCの意見交換等に参加

補助  
委託

## 7. 住民参加型による一般介護予防事業介護予防普及啓発事業の展開と地域づくり

目 標／誰もが健康寿命を伸ばし、地域で孤立せず暮らしていけるよう、健康づくりを介しての住民参加の拡充を図る。

取組み／週1回、20小学校区での介護予防普及啓発事業の取組み実施  
健康づくりに関するボランティア活動者への学びの場の実施

一般介護予防事業介護予防普及啓発事業(地域参加型Bタイプリハビリ教室)を地域住民とともに運営し、高齢者を主に、地域住民の社会参加の機会の創出を行ってきました。令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言発出に伴う教室休止が断続的に発生しました。加えて、まん延防止等重点措置期間中など、通常通りの開催を不安視する声などがある教室は、参加者で協議のうえ開催を見送るところもありました。感染に関する話が以前より身近に聞こえるようになってきたこともあり、教室ごとに対応を求められる機会が増えた1年でした。

教室休止期間中は、利用者の心身の変調がないか、週に1回の頻度で担当コーディネーターから利用者に電話をする機会を持ちました。加えて、休止期間が長期にわたる時には、当会から利用者へ「おたより」を発行しました。教室休止中の身体機能の低下を防ぐため、テレビ放送の体操の時間をみんなで視聴することを促し、実際に会う機会が少なくても互いにつながり合っている気持ちを感じてもらい、教室への参加意欲の低下を防ぐことにも努めました。「おたより」は休止期間中に2回発行しました。



新規参加者を見ると、令和2年度は5名でしたが令和3年度は27名と大幅に増加しました。生活様式の変化やご近所同士の関わり方の変化、高齢者のワクチン接種が進むなど、新型コロナウイルス発生当時に比べての不安が減っていることも影響しているのかも知れません。また、参加経路として、教室を運営するボランティアや学区福祉委員をはじめとする「ご近所さん」の紹介で教室への参加を希望される方が増加しました。

身体機能の低下を防ぐ機会として、今後も当事業の存在を、広報紙、教室単位のチラシ、地域のつながりやロコミなど、様々な範囲や規模で周知していくことが必要であると考えます。

介護予防に関するボランティア講座は、参加者の社会的距離等、感染症拡大防止に配慮しながら実施しました。マスク生活が長くなる中、呼吸筋ストレッチ体操や簡単な方法で実施できる体操、レクリエーションの仕方等について学ぶ機会を持ちました。いずれも各教室ですぐに実践いただくことができました。

### (介護予防普及啓発事業【地域参加型 B 型リハビリ】開催状況)

教室名	小学校区	実施回数(回)	利用者実人数(名)	利用者のべ人数(名)	ボランティア実人数(名)	ボランティアのべ人数(名)
ほっこりくらぶ	神明	28	6	145	21	314
さわやかくらぶ	御蔵山	30	7	112	9	145
すこやか広野	大久保	24	7	121	21	247
ニコニコ菟道	菟道	27	12	193	17	322
あったか平盛	平盛	28	11	248	11	186
のんびりくらぶ	西大久保	24	7	102	16	221
みむろど健康教室	三室戸	31	12	241	30	316
なごみ岡屋	岡屋	18	5	32	9	124
ホット大開	大開	30	6	100	13	277
元気おうばく	宇治	33	6	136	19	437
きらきら菟ニクラブ	菟道第二	31	4	89	19	370
ハスの実くらぶ	小倉	34	4	94	23	508
お茶の実クラブ	木幡	28	6	106	19	310
しらすぎクラブ	南小倉	23	7	112	9	143
ふれあい北楨	北楨島	34	13	245	12	338
楨島あすなろ会	楨島	31	11	225	8	193
ぬくもり伊勢田	伊勢田	29	8	141	17	233
南部てんとう虫教室	南部	32	12	250	13	242
スマイル西小倉	西小倉	32	8	171	11	275
フラワー北小倉	北小倉	29	6	68	9	210
合計		576	158	2,931	306	5,411

### (宇治市内の介護予防普及啓発事業【地域参加型 B 型リハビリ教室】ののべ人数の推移)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
実施回数(回)	742	609	576
利用者のべ人数(名)	5,259	3,163	2,931
ボランティアのべ人数(名)	8,774	5,426	5,411

### (ボランティア研修会 開催状況)

日 時	①令和3年11月15日(月) 10:00~11:30 ②令和3年11月30日(火) 10:00~11:30 ③令和3年12月21日(火) 10:00~11:30 ④令和4年 3月15日(火) 10:00~11:30 ※緊急事態宣言中により令和3年9月29日(水)実施予定を令和4年3月15日に変更
場 所	①産業会館②、③、④宇治市総合福祉会館
目 的	地域での介護予防に資する自発的な活動の普及啓発と住民の活動の育成
参加者	①34名 ②24名 ③21名 ④29名
内 容	①『サロン交流会 ~突撃!隣のサロンさん~』 ※兼サロン研修会 ②~呼吸筋ストレッチ体操~ 呼吸を整えココロもカラダもリフレッシュ ③~呼吸筋ストレッチ体操~ 呼吸を整え肺機能低下を予防しましょう ④ひろめよう「のびのびエクササイズ」~地域の仲間といきいき過ごすために~
実施して	アンケート等の内容から、介護予防のボランティア活動を実践していく中で、より向上したいという思いに応えることができる内容であったと考えます。コロナ禍で、利用者・ボランティアの身体機能の低下が課題となっているため、改めてフレイル予防の具体的な取組みの必要性について周知できました。また、これまでボランティア活動に参加されていない人たちにも介護予防の大切さと地域での取り組みを知っていただける機会となりました。3回目のボランティア研修会ではグループワークで参加者に地域参加型Bタイプリハビリ教室の紹介が出来たことにより早々に教室を見学されてその後、ボランティア登録してもらうことにつながりました。



(ボランティア研修会の様子)

### 8. 若年層への福祉教育の実施

補助  
委託

目 標／京都文教大学の授業をきっかけに、ボランティア活動への参加のすそ野を広げる。

取組み／ボランティア活動団体や福祉施設との協働による京都文教大学ボランティア演習を通じた、大学生のボランティア活動の体験

京都文教大学の科目である「地域ボランティア演習」に関して業務提携を行い、学生のボランティア活動促進に努めました。「地域ボランティア演習」では、学校支援コース、自己開拓コース、社会福祉支援コースがあり、当会は社会福祉支援コースを担っています。

コロナ禍ではありましたが、春学期、秋学期ともに実習受入を行いました。実習後の学生からは、「ボランティアは人のためのものと思っていたが、自分にとって貴重な糧になることがわかった」「将来、福祉分野に進むことも考えてみようと思った」など、様々な変化が見られました。受入れ団体からも「利用者や施設の仲間の刺激になって良かった」など、今後も受入したいとの声がありました。

(京都文教大学ボランティア演習の演習実施状況)

団体・施設名	春学期 (4月7日～7月21日)	秋学期 (9月22日～1月12日)
	受入れ人数	
特定非営利活動法人就労ネットうじみつくすはあつ	3	2
ワークセンター宇治作業所	2	2
宇治市要約筆記サークル「エコー」	3	0
宇治ボランティア活動センター	1	1
宇治市社会福祉協議会 (学習支援)	5	2
〃 (Bタイプリハビリ)	3	2
合 計	17	9

9. 宇治福祉のつどいによる住民福祉活動への参加の機運の向上

赤い羽根 補助委託 歳末募金 利用負担

目 標／福祉活動参加者への敬意を表し、また、地域福祉課題の提起を図る

取組み／宇治福祉のつどいの表彰式典

地域共生社会推進事業を活用した講演会等による地域福祉課題の提起

令和2年度は新春福祉のつどいは中止しましたが、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、時期を秋にし、表彰式典のみの実施として、10月29日(金)にパルティール京都にて開催しました。令和3年度は、当会会長表彰及び感謝状の贈呈を108名の受賞者(表彰者個人106名、団体1名、感謝状1名)に行いました。

参加者は、99名(表彰者48名、来賓7名、一般35名、理事9名)で、新春福祉のつどいの規模と比較すると3分の1の参加人数でした。また、講演会等による地域福祉課題の提起はできませんでしたが、当会としては久しぶりに対面で大きな取組みとなり、改めて顔を合わせることの大切さも実感できる機会になりました。記念品はデイセンター宇治作業所のびのびで胸花を作成いただきました。



宇治福祉のつどい表彰式典の様子

10. 福祉専門職や福祉事業に関わる人たち、社会福祉法人等との連携強化

目 標／社会福祉法人等と課題を共有し、解決を目指す。

取組み／宇治市福祉サービス公社や社会福祉法人等の参画による学びの場の提供

各種法人を巻き込んだ福祉人材の確保に向けた場づくり

各種法人の課題を共有する対話の場づくり



宇治市福祉サービス公社と取組んできたプロジェクトは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため合同勉強会を中止して以降、取組みには至っておりません。

また、社会福祉法人等との福祉人材の確保に向けた場づくりも同様に、取組みには至りませんでした。

コロナ禍で障害福祉サービスを提供する法人が実施する事業の活動場所確保について相談がりましたが、一時的な貸館対応となり、根本解決には至りませんでした。引き続き今後も当会のあらゆるチャンネルを活かし、課題を共有する対話の場づくりを進めるための情報交換が必要です

## 11. 他機関との連携による子育て世代への働きかけと地域福祉活動へのきっかけづくり

目 標／NPO 法人等と連携し当事者の視点を大切にした子育て世代への地域福祉活動へのきっかけづくりに取り組む。

取組み／NPO 法人等と連携した子育て支援事業の展開  
中学生と赤ちゃんのふれあい交流事業



NPO 法人との連携による子育て中の親子の出会いの場、相談の場づくりとして、1歳になるまでの子どもを持つ親を対象とした、赤ちゃんサロン・広場・パークを開催しました。令和3年度も、緊急事態宣言中は開催を中止し、宣言解除後は、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、個別マットを配布して参加者同士の距離を空けながらの開催としました。また、令和2年度に引き続き、コロナ禍で病院等の医療機関での実習受入れが断られ苦慮されている同志社女子大学看護学部看護学科の学生を実習生として迎え、実際の親子のふれあいの様子や地域での子育て支援のあり方、親の喜びや悩みに触れる機会を提供しました。

### (1) 「赤ちゃんサロン・広場・パーク」の実施（「NPO 法人子育てを楽しむ会」と共催）

参加者の気持ちをほぐすプログラムの後、交流を促すフリートークの時間を設けるほか、小グループでのおしゃべりタイムを設け、参加者が自然と交流しやすくなるような工夫をしています。

コロナ禍で「これまで参加していた子育ての催しが中止になっているので参加した」「月齢が近い同士で集まれるので参加しやすい」や「ゆったり参加できる場所となっている」という声もありました。

令和元年度に比べ、令和2年度、3年度の参加者数が減っている理由として、緊急事態宣言等により開催数が減ったことと、各回の参加者数もまだ減少気味であることが要因です。

#### (赤ちゃんサロン・広場・パーク開催実績)

名 称	赤ちゃんサロン	赤ちゃん広場	赤ちゃんパーク
対 象 (市内在住に限る)	妊婦および1ヶ月から4ヶ月の赤ちゃんと親	5ヶ月から8ヶ月の赤ちゃんと親	9ヶ月から12ヶ月の赤ちゃんと親
日 時	原則 毎月第4木曜日	原則 毎月第1金曜日	原則 毎月第3金曜日
	10:00～12:00		
実施場所／参加費	宇治市総合福祉会館／参加費 200 円		
実施回数	8回	7回	7回
参加状況 (スタッフ延べ数:保育 サポーターは含まず)	42組 (85名)	49組 (98名)	52組 (96名)

※5月及び6月、9月の一部は新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言中により開催中止

**(赤ちゃんサロン・広場・パーク参加者の推移)**

(単位:組)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
赤ちゃんサロン	70	47	42
赤ちゃん広場	104	88	49
赤ちゃんパーク	95	97	52
合計	269	232	143

**(2)「おしゃべりキャッチボール」の実施(「NPO 法人子育てを楽しむ会」へ委託)**

子育て中の同じ悩みを持った親同士の出会いの場、相談の場づくりとして、おしゃべりキャッチボールを実施しました。令和3年度も、令和2年度に引き続き「発達が少し遅いかなと不安を感じる子育て中の保護者」「アレルギーのある子どもを持つ親」「多胎児を育てる親」を対象に、宇治市内の当事者グループや助産師などの協力を得て実施しました。緊急事態宣言により、予定が何度となく変更となる中、会場を分け、それぞれのプログラムを同日開催にしたり、問い合わせの多かった、多胎児の保護者を対象とした会の回数を増やすなど、柔軟に対応して実施しました。当事者同士の交流を行うことで、情報の交換や悩みの共感などができ、参加者のリフレッシュの時間となりました。大会としても、活動されている当事者や悩みを持つ方の声が聴ける貴重な機会となっています

**(おしゃべりキャッチボール開催状況)**

テーマ	発達が少し遅いかなと不安を感じる子育て中の保護者	アレルギーの子どもをもつ保護者	多胎児の保護者
対象	市民全般		
日時 10:00~11:30 (時間は共通)	①10月14日(木) ② 2月10日(木)	①11月11日(木) ② 1月27日(木) ※1月は大雨による7月分中止の代替開催	① 8月5日(木) ※5月中止分の代替開催 ② 10月14日(木) ※9月中止分の代替開催 ③11月11日(木) ※6月発達中止分を多胎児として代替開催 ④12月 2日(木) ⑤ 3月10日(木)
実施場所・参加費	宇治市総合福祉会館／無料		
親子数(参加者数)	①2組(4名) ②1組(3名)	①1組(2名) ②0組(0名)	①4組(13名) ④8組(23名) ②6組(18名) ⑤4組(8名) ③5組(15名)

**(3) 子育てサークルなどへの情報提供および広報**

現在、子育てサークルへの参加調整は、宇治市子育て支援基幹センターが窓口となっているため、当会に連絡があった際には、子育て支援基幹センターへとつないでいます。子育てサロンについての問い合わせや調整は、当会にて相談、調整を行っています。

宇治市総合福祉会館に常設している子育て情報コーナーで市民向けの各種情報を提供しました。令和元年度から、SNS での情報発信や、子育て情報誌の内容を google カレンダーで表示できる広報手段を導入していますが、コロナ禍で各種団体の催しが自粛となっているため掲載を控えました。

#### (4) 中学生と赤ちゃんの交流事業への協力

乳児から2歳頃までの赤ちゃんと親が「赤ちゃんボランティア」として中学校を訪れ、中学3年生と交流をはかる事業です。これまで、当会では、ボランティア募集、連絡調整、当日のサポート、実施後のフォローを行ってきました。コロナ禍での開催について、各中学校と協議を行いましたが、残念ながら令和2年度に引き続き、学校の判断により開催見合わせとなりました。

その中で、私たちにできることとして、赤ちゃん交流事業に参加できなかった3年生に対して、NPO 法人子育てを楽しむ会の事業に参加されている方や子育て事業を行っているスタッフからの卒業を祝う一言メッセージを集めたお祝いボードを、赤ちゃん交流を予定していた中学校に贈呈しました。



榎島中学校での贈呈の様子



宇治中学校での贈呈の様子

## 12. 高齢者の生きがいをづくりを行う老人福祉センターの運営

補助  
委託

目 標／高齢者の生きがいをづくりと社会参加の機会を創出する。

取組み／USK サークル事務局としての取組み

クリーン運動等の実施

サークルの発表の場の提供

老人福祉センターサークル協議会（USK）の事務局として、高齢者の生きがいをづくりと社会参加の機会の提供を行いました。

### (老人福祉センターサークル数の推移)

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
サークル数	20	20	17
登録者数	392	384	331

### (シルバーウェルネス舞台発表大会・展示発表大会開催の支援)

日 時	①舞台発表大会：令和4年2月22日(火)10:30～16:00 ②展示発表大会 ※①、②ともに新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止
場 所	①宇治市文化センター小ホール ②宇治市総合福祉会館
目 的	サークル発表及び作品の展示と交流
内 容	①合唱・太極拳・カラオケ・民謡・謡曲・詩吟・三味線・大正琴・社交ダンス ハーモニカ ②華道・茶道・書道・陶芸・ちぎり絵

**(当会活動への協力状況)**

(単位:円)

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
団体会費	38,200	32,000	29,200
ふれあい基金	67,082	32,334	36,383
共同募金	56,000	61,000	55,200

USKでは、広く社会福祉へ貢献することを目的に、サークルの参加者から当会ふれあい基金等に寄付金、募金をいただきました。令和3年度も、新型コロナウイルスの影響による緊急事態宣言期間中は、福社会館が休館したため、サークル活動が中止となりました。令和2年度に引き続きクリーン運動などの福祉活動も中止せざるを得ませんでした。

その中、歴史健康ウォークは、サークル会員の交流を目的に2回実施しました。今年から観光ボランティアガイド3名に依頼することにより、宇治の歴史と茶文化の知識を深めることができました。(11月30日「宇治まちなみ散策」・2月17日「福文製茶場見学」)また、年度末展示大会は、展示のみ実施しました。

**13. 障がいのある人の社会参加の支援**

補助 委託 利用 負担

目 標／障がい者の社会参加の機会を創出する。

取組み／身体障がい者デイサービス事業の実施

移動支援事業(車いすユーザー対象)の実施

身体障がい者デイサービス事業や移動支援事業の展開から、障がいのある人の社会参加の支援を行いました。

**(1) 身体障がい者デイサービス事業の実施**

身体に障がいのある方が、社会参加の場を得、多くの方と交流ができるよう、卓球バレー、手づくりなど、様々な教室を開催しています。利用者の身体機能の低下も見られる時がありますが、利用者同士の支え合いもある中で、安全面に配慮しながら運営しています。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による緊急事態宣言中は、福社会館が休館となったため事業を中止しました。参加者からは「この事業でしか外出する機会が無い」との声が聞かれ、貴重な社会参加の場となっていることが再認識できました。10月からは、利用時間の短縮を解除し、消毒など感染予防対策を講じた上で再開しました。

**(各教室の実施状況)**

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
教室数	8	7	7
教室開催回数	112	90	79
登録人数(名)	45	37	36
のべ利用者数(名)	516	427	355

(各教室の開催状況)

教室名	年間開催数	登録利用者数	登録利用者内訳				延べ参加者数	1回当たりの参加人数	平均出席率
			肢体	視覚	聴覚	内部			
視覚裁縫	9	3	0	3	0	0	25	2.78	93%
卓球バレー	30	7	6	1	0	0	140	4.67	67%
書道	6	3	2	0	0	1	16	2.67	89%
コーラス	13	10	3	5	1	1	109	8.38	60%
手作り	8	4	1	2	1	0	29	3.63	91%
絵てがみ	6	2	2	0	0	0	6	1.00	50%
遊びでできるリハビリ	7	7	1	6	0	0	30	4.29	61%
合計	79	36	15	17	2	2	355	4.49	

(2) 移動支援事業の実施

車イス利用者にガイドヘルパーを派遣し、外出のための支援を行っています。

令和3年度の新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、2度の緊急事態宣言に加え、まん延防止等重点措置の適用が複数回実施されました。そのため令和2年度に引き続き余暇活動や社会参加といった外出は減少し、必要最小限の支援の依頼が目立っています。利用者、ガイドヘルパーともにコロナ感染者はなく、最小限ではありますが必要な支援が実施できました。

また、高齢の利用者が多く、入院や入所といった理由で移動支援が減少したことが令和3年度の特徴となりました。コロナ禍のこの2年間は長時間の支援は減少し、短時間での移動支援が増えています。

(移動支援事業の状況) カッコ内は男/女

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
ヘルパー登録者数(名)	8(3/5)	8(3/5)	6(2/4)
利用登録者(名)	11(8/3)	10(7/3)	11(8/3)
派遣調整(件)	190	120	101
派遣実施数(件)	165	103	81

※新型コロナウイルス感染症の影響によるキャンセルは9件ありました。

14. きょうと地域福祉活動実践交流会の開催への参画

目 標／様々な地域福祉実践から、多様性のある地域福祉の推進について学ぶ。

取組み／宇治、城陽、久御山の三社協と京都府内市町村社協連合会による、「きょうと地域福祉活動実践交流会」の開催

2011年(平成23年)の全国小地域福祉活動サミット in 宇治を契機に始まった、きょうと地域福祉活動実践交流会は、令和2年度に京都府市町村社会福祉協議会連合会と山城北エリアの社協(宇治市・城陽市・久御山町)との共催にて開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により延期となったため、改めて、令和3年11月に府内市町村社会福祉協議会をオンラインでつないでの実践交流会として開催しました。

(担当者会議)

日 時	①令和3年4月14日(水)14:00~16:15 ②令和3年5月18日(木)10:00~12:10 ③令和3年5月20日(木)10:00~12:00 ④令和3年5月27日(木)10:00~12:00 ⑤令和3年6月 3日(木)10:00~12:15 ⑥令和3年6月17日(木)10:00~12:00 ⑦令和3年6月22日(火)15:00~16:40 ⑧令和3年7月 2日(金) 9:45~12:00 ⑨令和3年7月20日(火)10:00~12:00	⑩令和3年 8月11日(水)10:00~12:00 ⑪令和3年 9月 8日(水)14:00~16:00 ⑫令和3年 9月17日(金)13:30~16:30 ⑬令和3年 9月29日(水)10:00~12:00 ⑭令和3年10月15日(金)10:00~14:00 ⑮令和3年11月 4日(木)10:00~11:00 ⑯令和3年11月 9日(火)14:00~16:00 ⑰令和3年11月19日(金)14:00~16:00 ⑱令和4年 2月 3日(金)13:30~15:00
場 所	①~⑧、⑱宇治市総合福祉会館(オンライン) ⑪、⑬、⑮城陽市社会福祉協議会 ⑨、⑭久御山町社会福祉協議会 ⑩、⑫、⑯、⑰宇治市社会福祉協議会(⑩は会場候補地下見含む(パルティール京都))	
目 的	京都府市町村社協連合会及び宇治市・城陽市・久御山町社協の協働による、実践交流会の開催に向けた、担当者間の意識共有及び企画内容の検討、当日に向けた準備	
参加者	京都府社協1~2名(京都府市町村社協連合会事務局) 当会1名 城陽市社協1名 久御山町社協2名	
内 容	開催テーマ、開催方法、会場選定、講師調整、各市町村社協との調整等についての協議 ⑦は、講師打ち合わせを含む。 ⑮は、府内市町村社協担当者への事前説明会を含む(城陽市社協を拠点としたオンライン)	
実施して	各市町村の小地域福祉活動の経過や組織形態に違いがある中、開催テーマを絞るための協議に時間を要しましたが、協議を重ねることで、「地域住民の主体性を高め、広く住民の参画を得ていくことの重要性」という共通認識を持って開催準備を進めることができました。	

(実践交流会)

日 時	令和3年11月30日(火)13:30~16:30
場 所	宇治茶会館(宇治市会場・実践交流会中継会場) 京都府内市町村社協の各会場(サテライト会場) 27市町村 30会場
目 的	府内の地域福祉活動実践を学び、各市町村での小地域福祉活動の拡充につなげる。 小地域福祉活動実践者同士の交流を通じて、日々の活動へのモチベーションを高める。
参加者	宇治茶会館: 京都府社会福祉協議会8名(役職員)、当会13名(役職員※うち2名はオンライン参加・実習生)、城陽市社協3名、久御山町社協2名 サテライト会場: 約500名
内 容	【講演】地域づくりの『いろは』から想像する新しいつながりの創造 講師: 室田信一(東京都立大学 人文社会学部准教授) 【実践報告・パネルディスカッション・意見交換】 ①深谷校区社会福祉協議会(城陽市) 「コロナ禍におけるふれあいサロン活動」～ふれあいセンターのこれまでとこれから～ ②市田地域福祉会(久御山町) 日本の生活を学ぶ新たなつながり～外国人技能実習生×地域福祉会～ ③コラボプラザ～ふらっとこはた～ 「共に語り、共に学び、まずはやってみる!」から始める地域福祉活動



実施して	どの地域でも、地域福祉活動の担い手不足が一つの課題となっている中で、今ある活動を引き継いでいくことだけに目を向けるのではなく、なぜ、その活動が必要なのかに着目しながら、多様な話題を介した「地域住民の参画の機会づくり」が大切であることを共有できました。合わせて、今後の地域福祉活動において、一人の活動者がひっぱる地域福祉活動でなく、参画者それぞれがリーダーの役割を担い、活動を進め、その力の集約が小地域福祉活動の底上げにつながるについて学ぶ機会となりました。また、今後の実践交流会に向けて、オンラインによる開催のあり方を示す最初の1歩とできました。
------	---

## 15. 福祉活動拠点の整備と活用 宇治 利用 社協 負担

目 標／福祉会館以外の福祉活動拠点の活用とその効果に関する研究を行う。

取組み／理容アズマの空き店舗の活用による地域福祉活動拠点の整備、ネーミング募集。

木幡学区での、住民交流拠点づくりと社協出張相談の場の検討（～コラボプラザ～「ふらっとこはた」の取組み支援）（NEW）

### （1）新たな地域福祉活動拠点の整備、活用

前年度に丸紅基金社会福祉助成金の交付を受け、令和3年8月31日に改修を終え、「地域福祉活動拠点（コミュニティスペース）」として運用をはじめました。ミーティング形式にも対応できるように助成金を活用し、什器の整備に努めました。

原則、年末年始祝日を除く平日の9時から17時を利用時間とし、それ以外は要事前相談とし柔軟に対応しました。会議、コワーキング、イベント、研修、情報発信、交流、相談などの貸室として運用をはじめました。午前午後夜間の区分ごとに1回ワンコイン（500円）の利用料としています。

運用に際し、利用団体の声をもとに、共に創る視点を心掛けました。そのひとつに Google 共有カレンダーによる管理を試行的にはじめました。

### （2）木幡学区での、住民交流拠点づくりと社協出張相談の場の検討

木幡地域の“いま”や“思い”を語り合い、「こんなのがあればいいな」「こんな活動ができればいいな」を共有し、学び合う懇談会として、木幡学区内の住民誰でもが立ち寄れ、交流や情報交換を行ったり、志を同じとする人同士で、新たな動きや活動を生み出していききっかけづくりとなる交流拠点の開設を第4土曜日に定め実施しました。当日は、当会職員も参加し、相談を受けるという姿勢ではなく、身近なできごとの話を伺いながら、社協の活動を地域の方に知ってもらえるよう活動写真のパネル展示も行っています。新型コロナウイルス感染症の影響で、会場が使えない時や、感染予防の観点から6回中止をして、6回実施をしました。

木幡地域の住民に特技を披露してもらう機会（観光名所の紹介や、ミシン裁縫、歌やバイオリン演奏など）や、自分にとっては不要であるが、誰かにとっては欲しい物になる可能性もあるのではという発案から「もらって下さいコーナー」などを設置しました。

(木幡地域福祉センターにてふらっとこはたの取組みと、社協出張相談の場)

日 時	①令和3年 4月24日(土) 10:00~16:00 ②令和3年 7月24日(土) 10:00~15:00 ③令和3年10月23日(土) 10:00~15:00	④令和3年11月27日(土) 10:00~12:00 ⑤令和3年12月25日(土) 10:00~15:00 ⑥令和4年 1月22日(土) 10:00~15:00
場 所	①、②、③、⑤、⑥木幡地域福祉センター ④ お茶と宇治のまち歴史公園(散策)	
目 的	地域の方が、お互いにフラットな立場で、ふらっとおしゃべりに来て、自分が知らない情報を得たり、「地域の中にあつたらいいな」と思う活動の具現化を住民自らが進めたりする場にしてい	
参加者	①23名 ②9名 ③15名 ④18名 ⑤21名 ⑥25名	
内 容	(地域の方の活かしたプログラム) ① 観光名所についてのお話 ② ミシン体験コーナー ③ ドライフラワークリップづくり・ペタンク体験・スマホ相談 ④ お茶と宇治のまち歴史公園の散策ガイド ⑤ コケ玉づくり・ロシア民謡弾き語り ⑥ バイオリン演奏・スマホ相談 野菜マルシェや、特技の披露などの場となりました。また、スマートフォンについて気軽に聞ける場所があれば良いという意見から、ボランティアをしたいという大学生に参加してもらい、スマートフォンについての相談コーナーを実施しました。	
実施して	少しずつ口コミで参加者も広がっていきな、新型コロナウイルス感染症の影響で連続して開催できないことで地域に定着しているとは言えない状況です。しかし、イベントがなくても交流の場となり得ることを見なで確認するなど、交流の場としての有効性を感じています。また、スマートフォンの相談などは、若年層が活躍できる場として、有意義であると感じています。	



大学生にスマートフォンの設定を教えてもらっている様子



グリーンボランティア「あめノチ」花の苔玉ワークショップの様子



### 第3章 各種相談から、生活課題、地域福祉課題の把握と解決を図ります

相談者自らの意志や決断に寄り添い、制度や専門窓口、当会の強みである地域福祉活動やボランティア活動へのコーディネート力を生かした相談支援を展開します。

#### 1. ボランティア相談の実施 補助 宇治 委託 社協

目 標／ボランティアコーディネートの強化を通して、各種のボランティア活動に参画する市民のすそ野を広げる。

取組み／宇治ボランティア活動センターとの連携による地域福祉活動の人材育成

令和3年度も新型コロナウイルスの影響が継続し、空いた時間にボランティアをしたいとの相談が多かったです。また年度初めには、コロナ禍で入学した大学生から立て続けに相談があったことが特徴的でした。オンライン授業がほとんどのため、人とのつながりを求めてボランティアに参加したいとの声がありました。また、コロナ禍で外に出ることが減っている高齢者から傾聴ボランティアの訪問を希望されるニーズも上がっています。

ボランティア活動者へは、主に活動先の紹介と受入れ調整、ボランティア情報の提供を行いました。活動先としては、当会の介護予防教室や NPO 団体等が行っていることも食堂、子育て広場等を紹介しました。また、各種ボランティア養成講座、ボランティアマッチングサロン等の情報を提供しました。「何か活動してみたい」と希望する方の思いが活動につながるようなボランティアコーディネートをすることに努めました。

#### (担当職員による月別ボランティア相談件数の推移)

(単位:件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度	10	28	16	8	21	5	17	13	26	18	8	8	178

※相談件数には、初回相談以降の対応件数を含む。(初回相談月にまとめてカウント)

#### (担当職員によるボランティア相談件数の推移)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
件数	189	227	178

#### (相談者の属性(所属))

(単位:名)

個人(一般)	個人V登録者	Vセンター登録団体	学区福祉委員会	ふれあいサロン	ボランティアグループ	当事者団体
56	5	4	1	0	2	1

福祉施設	自治会・町内会	学校	福祉関係機関	行政	企業	その他	合計
2	0	3	7	2	4	4	91

## 2. ふれあい福祉センター相談事業の実施

補助  
委託 宇治  
社協

目 標／生活課題や地域福祉課題の把握と解決を図る。

解決に向けた寄り添い支援

取組み／福祉なんでも相談の実施

専門相談（社会保険、多重債務・成年後見、登記、法律）の実施

福祉なんでも相談において、相談者の課題解決に寄り添っています。また、専門相談の申し込みをきっかけに相談者の必要に応じて、他機関、ボランティア団体等につながりもあります。

相談は、1回の相談で終わらず複数日、連日にわたって対応していることもあります。知り得たニーズを個別だけの課題だけでなく、解決に向けて、生活支援コーディネーター、地域担当者、他職種等とも連携し、まちづくり、地域づくりへの取り組みのヒントとして生かすよう努めています。（例えば、生活困窮で食べるものに困っている、精神不安から自分の居場所を探しているなど）

なお、福祉なんでも相談では、相談件数の多い順番に、相隣問題、相続・財産、家庭内トラブル、生計、結婚・離婚、となっています。新型コロナ関連では、ワクチン接種についての不安、仕事と共に住居を失い、新たに入居するため身元保証人がいないなどの相談も寄せられました。

### （各相談の相談件数の推移）

（単位：件／日）

	福祉なんでも 相談	法律 相談	登記 相談	年金・社会 保険相談	多重債 務相談	成年後見 相談	合計	開設日
令和元年度	258	363	105	7	17	11	761	241
令和2年度	157	332	97	6	13	3	608	243
令和3年度	275	390	106	9	13	13	806	242

※新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減少した世帯の生活費についてのご相談は、貸付相談に含まれています

## 3. 貸付相談の実施

補助  
委託

目 標／貸付相談から見える生活課題、地域福祉課題を把握する。

取組み／くらしの資金の貸付、償還相談

生活福祉資金の貸付、償還相談

新型コロナウイルス感染症の影響による緊急貸付への相談対応

補助  
委託

貸付相談や償還相談から生活課題を把握し、関係機関と連携しながら不安を抱える世帯への支援に努めました。

### （1）生活福祉資金貸付の実態

補助  
委託

生活福祉資金では、日常生活上で一時的に資金が必要になった場合に、世帯単位での貸付を行っています。例年はその多くが教育支援資金となっています。申請件数が減少した令和2年度と比べ令和3年度は申請件数が増加しました。高校進学においては通信制高校への進学者数が増加傾向にあり、申請件数も増えました。

一方で、新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業等により、生活資金にお悩みの世帯へ、生活費用の特例貸付を実施しました。これは通常件数の約30倍となっており、前年度同様、着金まで

のスピーディーな対応が求められました。業種別相談件数では、運輸・郵便業、飲食・宿泊業に次いで建設業関係の順で高くなっています。

二度の緊急事態宣言下（4/25～6/20、7/8～9/30）では、個人事業主からの相談が増加し、その後は一人親家庭からの相談が増加しました。11月頃から社会状況を同じくして感染・濃厚接触等の影響による相談が目立ちました。再貸付以後のさらなる貸付を求める声は途切れることはなく、市の生活困窮者支援の窓口と連携を図りました。

従来との異なる点は、技術・技能実習生、留学生等の外国人との意思疎通に時間を要する点です。当初の貸付申込期間は、令和4年8月末まで延長となりました。

**（生活福祉資金貸付実施実績）**

資金種別		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
		件数 (件)	金額 (円)	件数 (件)	金額 (円)	件数 (件)	金額 (円)
総合支援 資金	生活支援費	0	0	1	420,000	0	0
	生活支援費（増額）	0	0	0	0	0	0
	一時生活再建費	0	0	0	0	0	0
	住宅入居費	0	0	0	0	0	0
臨時特例つなぎ資金		0	0	0	0	0	0
福祉資金	生業	10	1,845,172	2	260,125	13	4,413,515
	技能習得						
	療養						
	一般福祉						
	緊急小口	3	300,000	3	300,000	0	0
教育支援 資金	教育支援費	45	15,601,000	24	8,932,000	42	16,005,000
	就学支度費	38	14,357,000	22	9,114,000	39	15,357,000
不動産担保型生活資金		0	0	0	0	0	0
合計		96	32,103,172	52	19,026,125	94	35,775,515

**（生活福祉資金 特例貸付実施実績）** ※新型コロナウイルス感染症拡大に伴う特例措置

資金種別	令和元年		令和2年度		令和3年	
	件数 (件)	金額 (円)	件数 (件)	金額 (円)	件数 (件)	金額 (円)
緊急小口資金	/		1,407	275,980,000	553	109,190,000
総合支援資金			1,028	561,760,000	604	335,290,000
総合支援資金（延長）			757	414,560,000	191	107,700,000
総合支援資金（再貸付）			224	124,500,000	940	520,750,000
合計			3,416	1,376,800,000	2,288	1,072,930,000

**補助  
委託**

**(2) 暮らしの資金貸付事業の実施**

年に2回(夏期:7月、冬期:12月)に低所得者世帯を対象に暮らしの資金の貸付(10万円限度)を実施しました。また、5月、9月、1月の年3回、残額通知と督促状を発行して、貸付者への連絡を行いました。貸付世帯の多くがひとり親世帯や高齢者世帯などであり、保証人等を必要としない本貸付を活用して生計の立て直しを図っているケースも見受けられます。

令和3年度においては、年金受給のみの独居高齢者の方も増加しています。なお、令和3年度においても令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、民生児童委員への相談を経由せず、郵送による申込みとなりました。

**(暮らしの資金貸付件数)**

(単位:件)

年度	夏期	冬期	合 計		貸付事由							
			件数	金額 (円)	生活費	医療費	借金返済	失業	交通事故	養育	その他	
令和元年度	6	9	15	1,440,000	13	2	0	0	0	0	0	0
令和2年度	14	23	37	3,650,000	35	1	0	0	0	0	0	1
令和3年度	15	13	28	2,800,000	24	3	0	1	0	0	0	0

**4. 福祉サービス利用援助事業の相談支援と成年後見制度利用促進法に基づく支援の仕組みづくりの検討**

**補助  
委託**

目 標/生活課題や福祉課題の発掘と解決を図る。

取組み/福祉サービス利用援助事業実施

生活支援員の資質向上とすそ野拡大

成年後見制度利用促進法に基づく支援の仕組みづくりの検討

福祉サービス利用援助事業の相談、支援から生活課題を把握し、解決に努めました。また、成年後見制度利用促進法に基づき展開される取組みからも生活課題の共有等に努めました。

**(1) 契約状況**

(実契約者数) 生..生活保護世帯 非..非課税世帯 他..その他の世帯

(単位:名)

区分	認知症 高齢者等			知的 障がい者等			精神 障がい者等			その他			合計		
	生	非	他	生	非	他	生	非	他	生	非	他	生	非	他
令和元年度	9	4	1	0	4	2	8	18	0	0	0	0	17	26	3
令和2年度	11	7	2	2	9	2	7	18	1	0	1	0	20	35	5
令和3年度	14	5	4	2	12	1	9	19	1	0	1	0	25	37	6

※令和3年度新規契約者(精神障がい、非課税世帯)のうち、1名は成年後見人との再契約者

(新規利用者) 生・生活保護世帯 非・非課税世帯 他・その他の世帯

(単位:名)

区分	認知症 高齢者等			知的 障がい者等			精神 障がい者等			その他			合計		
	生	非	他	生	非	他	生	非	他	生	非	他	生	非	他
令和元年度	3	3	0	0	1	0	3	2	0	0	0	0	6	6	0
令和2年度	4	6	1	2	5	0	1	2	1	0	1	0	7	14	2
令和3年度	6	2	2	0	4	0	5	3	0	0	0	0	11	9	2

※令和元年度新規契約者(知的障がい、非課税世帯)のうち、1名は成年後見人との契約者

※令和2年度新規契約者(精神障がい、生活保護世帯)のうち、1名は成年後見人との再契約者

※令和3年度新規契約者(精神障がい、非課税世帯)のうち、1名は成年後見人との再契約者

専門員、生活支援員のマンパワー不足により待機者が出ることとなりました。3月末の待機者は5名です。

(2) 相談調整等の件数の推移

支援開始をして、生活支援員の定期的な訪問のみならず、当会への電話での不安の訴えなどがあるケースも多くあります。そのような場合には、関係者と協議の場を持ち、支援方針等を統一しながら連携と互いの役割の確認をしながら関わっています。

(相談・連絡調整活動の実施状況)

(単位:回)

	認知症 高齢者等	知的 障がい者等	精神 障がい者等	その他	合計
令和元年度	825	477	2,600	4	3,906
令和2年度	1,379	709	2,866	43	4,997
令和3年度	1,964	1,164	2,679	46	5,853

(3) 生活支援員の資質向上と相互交流・啓発による支援員増員

福祉サービス利用援助事業における「生活支援員」に対して、利用者への相談援助を学ぶための生活支援員新任研修および現任研修(いずれも京都府社会福祉協議会主催)への参加を呼びかけました。コロナ禍のため新任研修は令和3年8月23日、令和4年1月31日、3月17日に動画配信で宇治市総合福祉会館にて実施。計9名が参加されました。同様に現任者研修は令和2年度分が延期となったため令和3年度に開催。令和3年4月20日、6月20日に計20名が参加されました。また令和4年2月22日には6名が参加されました。支援員同士の交流の「お茶会」は、コロナ禍により令和3年度も中止としました。

(福祉サービス利用援助事業の啓発)

日時	令和3年9月11日(土) 10:00~11:30
場所	地域福祉支援センター宇治小倉
目的	福祉サービス利用援助事業の啓発
内容	障がいがある方への支援セミナー
参加者	7名
実施して	当事者や家族の方の参加があり、その後、福祉会館に当事業について相談に来られる方もおられました。契約には至りませんでした。啓発にはつながりました。

**(NPO法人山城権利擁護ネットワーク主催 福祉サービス利用援助事業の啓発)**

日 時	令和3年11月13日(土) 11:00~12:00
場 所	ゆめりあうじ
目 的	福祉サービス利用援助事業の啓発
内 容	福祉にまつわる制度や施策、当事者の権利を擁護する取り組みについて、当事業の概要や利用者の状況、関わりの中で大切にしていることなどを説明。
参加者	山城権利擁護ネットワーク主催 法人後見サポーター養成講座 受講者 12名
実施して	当事業の生活支援員への活動についてもお声かけしましたが、生活支援員登録に結びつく人はおられませんでした。

**(4) 山城北中部広域社協合同講座(研修や講座等の企画・実施)**

福祉サービス利用援助事業を啓発する機会と、専門員の資質向上を目的に、山城北中部の7市町社協(宇治市・城陽市・久御山町・八幡市・京田辺市・井手町・宇治田原町)と京都府社協との協働で企画を立て、研修や講座等を実施しています。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため Zoom で事例検討や情報共有を行いました。

**(合同会議)**

日 時	①令和3年 6月21日(月) ②令和3年 7月26日(月) ③令和3年 8月24日(火) ④令和3年 9月27日(月) ⑤令和3年10月26日(火)	⑥令和3年11月25日(木) ⑦令和3年12月22日(水) ⑧令和4年 1月24日(月) ⑨令和4年 2月28日(月) ⑩令和4年 3月24日(木)
場 所	宇治市総合福祉会館 (Zoom にて参加)	
目 的	福祉サービス利用援助事業の専門員の資質向上	
内 容	事例検討及び情報共有	
参加者	各市町村社協専門員	
参加して	Zoom を用いてのオンライン開催でした。新型コロナウイルス感染症にまつわり事業運営に工夫が必要な点も多く、他市町村の職員との情報共有は有意義なものになりました。また、困難に感じている事例を共有して、他の市町村の専門員の提案などを聞くことで、事例を提供する側、助言する側、共に相互に学ぶ機会になりました。	

**(5) 専門員の資質向上**

福祉サービス利用援助事業において「専門員」の資質向上を目的に研修・会議に専門員・担当係長が参加しました。

**(令和3年度ブロック別専門員・職員会議)**

日 時	令和3年7月13日(火) 13:30~15:30
場 所	宇治市総合福祉会館 (Zoom にて参加)
内 容	1. 福祉サービス利用援助事業費非課税世帯利用料の次年度対応について 2. 成年後見制度利用促進の取り組み 3. 市町村社協と府社協が協働実践する法人後見・市民後見人養成の取組み
参加者	各市町村社協の福祉サービス利用援助事業専門員・権利擁護事業担当
参加して	非課税世帯の利用料の自己負担の対応などについての協議があり、他の市町村が抱えている内容、京都府社会福祉協議会の内容などを確認することができました。



**(令和3年度ブロック別専門員・職員会議及び事例検討会)**

日時	令和4年3月8日(火) 10:00~16:00
場所	宇治市総合福祉会館 (Zoomにて参加)
内容	1. 福祉サービス利用援助事業費非課税世帯利用料の来年対応について 2. 成年後見制度利用促進の取り組み 3. 市町村社協と府社協が協同実践する法人後見・市民後見人養成の取り組み
参加者	各市町村社協の福祉サービス利用援助事業専門員・権利擁護事業担当
参加して	本事業の実務上の課題について話し合いました。現在、府社協が検討されている法人成年後見制度について報告がありました。困難事例を聞き、助言などをすることで、相互に学ぶ機会となりました。

**(京都府医療観察ネットワーク連絡会「京ねっと」)**

日時	令和3年9月16日(木) 13:30~15:00
場所	宇治市総合福祉会館 (ZOOMにて参加)
内容	処遇に関する経験や、今後の課題の共有
参加者	医療観察制度の地域処遇に関わっている担当者
参加して	医療観察制度の法務省の管轄での強制力をもった処遇と、福祉としての自己決定を導く視点との違いがあることを改めて学びました。また、地域処遇が終わった後に、福祉制度でどのように支えているのかを学ぶ機会にもなりました。

**(福祉関係者が知っておきたい「任意後見制度」)**

日時	令和4年3月8日(火) 13:00~17:00
場所	宇治市総合福祉会館 (オンデマンド配信視聴)
内容	福祉関係者が知っておきたい任意後見制度の基礎知識と活用の実際
参加者	福祉関係者
参加して	基礎知識と実際の活用事例から任意後見制度の利用、社協との関わりにおける支援の在り方を学びました。任意後見制度の利用だけで完結するものではなく、社協を含めた機関とかかわりなど今後の支援の中でどうあればよいか考える機会となりました。

**(令和3年度地域福祉権利擁護に係る関係機関・団体等との情報・連絡会議)**

日時	令和4年3月11日(金) 13:00~16:30
場所	宇治市総合福祉会館 (ZOOMにて参加)
内容	地域福祉権利擁護事業と成年後見制度利用促進(地域連携ネットワーク)について、関係機関・団体等との情報・意見交換等
参加者	各市町村社協の福祉サービス利用援助事業専門員・権利擁護事業担当
参加して	金融機関での対応について学びました。成年後見制度では制度として、しっかりと対応されるマニュアルはあるが、地域福祉権利擁護事業では、金融機関にとっても取り扱いの判断に悩む場面も多く、どのように対応をしていくことができるかが検討事項であることを知りました。また、地元の金融機関では、顔が見える関係があることで、利用者に対して柔軟に対応いただける事例を知ることができました。

## 5.生活課題の把握と生活課題に向き合う団体の活動支援

目 標／団体の運営支援からの団体ニーズを把握する。

団体の活動支援からの生活課題、地域福祉課題を把握する。

「協議会」の意義を発揮したネットワークを構築する。

取組み／赤い羽根コラボ助成等の相談

各種民間助成金の案内

NPO や市民活動団体等と連携した生活相談対応

相談者が暮らしに希望を持てるようにするための具体的な支援策の構築

宇治市共同募金委員会の事務局として、助成相談を受ける中で生活課題や地域課題の把握を行うとともに、その支援に向き合う活動者や団体の支援を行いました。

### (1) 赤い羽根コラボ助成金

宇治市共同募金委員会の事業とし、赤い羽根共同募金配分金を活用した活動支援が行われていますが、実際の募集事務等は募金委員会の事務局を併せ持つ当会が行っています。助成金相談を入口にしながら、福祉活動団体の状況把握や課題についての情報収集を行うことが当会として必要と捉えており、活動や事業の原資となる共同募金運動との連動性をもって相談対応しています。

令和3年度は、申請当初から新型コロナウイルス感染症の影響で、事業を実施しないことを決められており、申請を見合わせる事業もいくつかありました。また、申請をされていた事業でも、新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかった事業もあり、返金になるケースも複数ありました。そのような状況への対応として、事業の申請内容に変更があった場合でも、柔軟に対応することに努めました。

助成金の申請受付をすることで、活動に必要な事柄を捉え、活用できる他制度等を情報提供したり、活動場所の発掘や確保に努めるなど、助成金交付後も活動団体の方と接点を持ち、活動の支援に関わっています。

相談を頂いた内容を基に、団体同士のコラボレーションを生み出したり、ネットワークを広げていくことを大切にしたいと考えています。今後は、民間助成金の情報や、団体との連絡も、よりスムーズに行えるよう、ICT を活用しての情報発信や情報共有の方法を検討します。

### (赤い羽根コラボ助成金の助成状況)

年度	申請額(円)	決定額(円)	申請事業件数		決定件数	新規団体
令和元年度	4,059,000	3,448,000	運営費	23	20	0
			事業費	69	69	0
			新規事業	4	1	0
令和2年度	3,263,000	3,263,000 ※確定金額 2,229,050	運営費	18	18	1
			事業費	56	56	1
			新規事業	5	5	3
令和3年度	3,143,000	3,089,000 ※確定金額 2,558,830	運営費	18	19	2
			事業費	52	51	2
			新規事業	5	5	1

(赤い羽根コラボ助成金の助成内訳)

	団体名	事業名	助成決定額 (円)	助成確定額 (円)
1	グリーンボランティア 「あめノ花」	運営助成	20,000	20,000
2	宇治市肢体障害者協会	運営助成	20,000	20,000
		市民とのふれあい	50,000	0
		卓球バレー交流会	50,000	0
		パソコン研修会	50,000	0
3	宇治市字幕つけサークルトロ	運営助成	2,000	2,000
4	宇治リーディングボランティア	運営助成	20,000	20,000
		視覚障害者向け各種情報の音訳事業	50,000	50,000
		リスナーとURVとの交流事業	50,000	50,000
		音訳ボランティア養成講座事業	50,000	50,000
		視覚障害者向け音声情報サービスの紹介CD制作事業 ※1	60,000	60,000
5	宇治難病患者連絡会	運営助成	20,000	20,000
		難病患者、家族交流会	50,000	50,000
6	まんぷく会	地域交流懇談会	40,000	0
7	わあわあネット	合同交流会	50,000	50,000
		ミニ交流会	50,000	35,000
8	御蔵山わんぱく親子の会	運営助成	20,000	20,000
		御蔵山わんぱく親子の会	50,000	50,000
9	宇治市子ども会連絡協議会	研修活動	50,000	41,000
		球技大会・グランドゴルフ大会	50,000	50,000
		新春子ども大会	50,000	0
10	わくわく kyoto	SPACE SHOWTIME vol.6～ダンスとアートでハートをつなぐ～	50,000	50,000
11	宇治市視覚障害者協会	点訳ボランティア養成講座	50,000	50,000
		研修旅行	50,000	50,000
		12 視覚障害者啓発講座	50,000	40,000
12	精神保健サロン「元気です会」	精神障がい者サロン運営事業	46,000	46,000
		精神障がい者野外レクリエーション事業	50,000	25,000
		精神障がい者クリスマス会事業	46,000	46,000
13	宇治市介護者(家族)の会	運営助成	20,000	20,000
		会報「ほのぼの」発行、暑中見舞い、年賀状送付	50,000	50,000
		親睦交流会(介護体験発表とつどい)	50,000	50,000
		サロンせせらぎ(地域のつどい)	50,000	50,000
		ほのぼのタイム運営(新規事業)	65,000	65,000

14	宇治市要約筆記サークル「エコー」	運営助成	20,000	0
		機関紙「エコー便り」発行	48,000	48,000
		難聴者コミュニケーション訓練	50,000	50,000
		地域での高齢者サロンにおける聴覚障害者への支援	46,000	46,000
15	宇治手話サークル太陽	一日研修会	50,000	50,000
		新春交流会	50,000	50,000
16	子ども部会 子どもサロン	運営助成	20,000	20,000
17	御蔵山ゆう輪蔵ぶ	運営助成	20,000	20,000
18	ことのは	運営助成	20,000	0
19	宇治市中途失聴・難聴者協会	機関紙「はと」発行発送	50,000	50,000
		みんなの手話勉強会	50,000	50,000
		聞こえの広場・誕生日会	50,000	50,000
20	NPO 法人アウンジャ	運営助成	20,000	20,000
		臨床美術で心を開放する	50,000	50,000
		被害女性生活支援活動	50,000	50,000
		被害女性同伴児家庭教師活動	50,000	50,000
		早朝・夜間の電話相談(新規事業)	100,000	100,000
21	宇治市連合喜老会	友愛活動	50,000	50,000
		シルバーリーダー研修会	50,000	0
22	炭山区町内会助け合い移動支援事業をすすめる会	運営助成	20,000	20,000
23	要約筆記サークル「やまびこ」	運営助成	19,000	19,000
		聴覚障害及び団体への支援	35,000	14,000
		要約筆記者の研修	18,000	9,000
		聴覚障害者と要約筆記の啓発	26,000	17,000
24	宇治市障害児・者父母の会	音楽療法	50,000	50,000
25	宇治市障害者福祉施設連絡協議会	うじ・はんどめいどフェア	50,000	46,000
		市役所ロビーほっとショップ、オープンカフェうじ	50,000	50,000
26	宇治市父子会	父と子のつどい	50,000	0
27	炭山地区まちづくり協議会	運営助成	20,000	16,000
28	京都府原爆被災者の会宇治支部	被爆体験を語る語り部活動	17,000	16,830
		会員交流会及び健康相談	9,000	9,000
29	宇治市ろうあ協会	運営助成	20,000	20,000
		第22回敬老会	50,000	25,000
		やまぶき事業	50,000	40,000
30	宇治市連合母子会	ひとり親家庭親子のための親子ボーリング会	50,000	50,000
31	コンタクトパーソン「結」	運営助成	20,000	11,000

32	宇治地区保護司会	社会を明るくする運動を題材とした 標語・作文の募集	14,000	14,000
		犯罪や非行を防止するための電話相談	15,000	15,000
33	おとなの居場所”歌広場”	運営助成	20,000	20,000
34	西浦東いこいの会	運営助成 ※2	13,000	13,000
35	まちづくりねっと・うじ	地域でいきいき暮らす認知症を知る セミナー(新規事業)	100,000	100,000
36	特定非営利活動法人 京よりそい	心の悩み等相談事業 ※1	100,000	100,000

※1 年度途中にて、新規事業で申請有

※2 事業助成で申請があったが、内容を鑑みて運営助成で決定

## (2) 民間助成金の情報提供

福祉活動団体からの相談を受ける中で、生活課題や地域課題の把握を行うとともに民間助成金の情報を案内して、その活動の支援を行いました。令和3年度もコロナ禍で活動を継続する福祉活動団体を支援するための助成金情報も多く、それらを各団体に案内し、申請に必要な推薦文の記入や申請・報告にかかる取りまとめを行うなどのサポートを行いました。

(民間助成金の助成状況) ※本会が事務取扱をして助成決定に至った団体分のみ掲載

助成団体	助成金名	助成団体
みずほ教育福祉財団	第38回老後を豊かにするボランティア活動資金	天神台ふれあいサロン「絆」

## 6. 宇治市地域共生社会推進事業の取組み

補助  
委託

目 標／生活課題、地域福祉課題の把握とソーシャルアクションをする団体を応援する。

取組み／地域共生社会推進事業における助成金等の活用

各種団体と連携し、地域福祉課題の解決に向けた取り組みの実施

平成30年度に引き続く4年目の事業として、宇治市の補助を受け、「宇治市福祉未来基金 地域共生社会推進事業(地域共生パイロット事業と公募型地域福祉活動支援事業)」を推進し、福祉課題解決の一助としました。

このうち、「公募型地域福祉活動支援助成金」については、①子どもの貧困、②ひきこもり、③地域福祉活動の担い手確保を対象(分類)とする事業に対し、助成金を交付しました。コロナ禍でありながら、居場所を求める点で共通しており、そのなかで他者に思いを寄せる活動が求められていました。

また、宇治ボランティア活動センターの協力のもと、大学生からのボランティア相談をきっかけに、大学生が自由に集まり、おしゃべりしたり、共にボランティア活動をしたり、自分たちでやりたいことを考えながら、地域に大学生の力を生かしていける場づくりを始めました。

(1) 宇治市福祉未来基金 地域共生社会推進事業「公募型地域福祉活動支援助成金」  
(交付実績)

団体名	事業名称	申請内容	交付額(円)
特定非営利活動法人すまいるりんく つなぐーみんなのひみつちー	サマーキャンプ	滋賀県びわこ青少年の家にて一泊二日のサマーキャンプ	申請取下げ
Kinarico(キナリコ)	子どもの居場所	子ども食堂をきっかけにした、にじみ絵活動、お話し会	113,000
特定非営利活動法人こころのはな	次世代を担う世代の人間力を共に支え合う居場所	通所、寄宿舍型相談支援事業、イベント・つどい	150,000
宇治地域福祉研究所 学校 de カフェ	学校 de カフェ しゃべり場	人材開発、学びの拡充、福祉課題の共有	150,000
お茶の町うじロコモに負けないプロジェクト	五感の力でロコモに負けない宇治の未来を育てよう	ロコモティブシンドロームの概念普及、健康づくり体験	未実施

(合計 413,000 円)

(2) 大学生のおしゃべりの場「yooSely\_rabbits(ゆーずりーらびっと)」の開催

日時	①令和3年11月17日(水)15:00~17:30 ②令和4年 1月24日(月)18:00~20:15 ③令和4年 2月18日(金)18:00~20:00 ④令和4年 3月25日(金)18:00~20:00
場所	理容アズマ跡コミュニティスペース
目的	大学生が自由に集い、おしゃべりできる場をつくり、大学生同士のつながりづくりや、大学生の力を生かしたボランティア活動や地域福祉活動について考える場とする。
参加者	当会にボランティア相談を受けた大学生や取組みに関心をもった大学生 ①大学生4名、当会4名(うち1名実習生)、活動センター2名 ②大学生2名、当会2名、活動センター3名 ③大学生4名、当会3名、活動センター3名 ④大学生4名、当会2名、活動センター3名
内容	①コロナ禍での大学生の状況、ボランティア活動への思いについて ②大学生同士でできるボランティア活動、やってみたいという活動について ③おしゃべりの場のネーミングの決定、インスタグラム開設 ④この場に参加していることの思いの共有・開設したインスタグラムへの投稿
実施して	宇治ボランティア活動センターの協力のもと、大学生がおしゃべりできる場所と時間の設定を行っています。コロナ禍で人とつながる機会を望んでいる学生や自分にできるボランティア活動をやってみたいという学生など、それぞれ違う大学の学生が参加しています。おしゃべりの内容や何をしたいかは参加した大学生が主体的に決めます。場のネーミングの決定とPRのためのインスタグラムが開設されました。当会として、今後も、大学生が主体的に考え、行動につなげていける場となるようサポートを行います。



## 7. 生活困窮者自立支援事業に基づく学習支援事業の取組み

目 標／中学生の学習習慣の定着を目指した支援を行う。

若年層への福祉活動へのきっかけづくりとする。

取組み／週2回の学習支援事業の実施

子どもの貧困対策の一助となることを目的に、平成29年度より、宇治市から委託を受け、生活困窮者自立支援法に基づく中学生の学習支援事業「うじピョンの学び舎」を運営しています。

新型コロナウイルス感染症の影響による中止もありましたが、原則、週2回2時間の開催に加え、夏休みや入学試験前には週3回開催し、中学生の学習習慣の定着を図りました。年間、111回の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で27回中止となり、84回の開催となりました。生徒数は、10月より15名となっており、出席率も高く、令和2年度よりも参加延べ数が増えました。

中学3年生に関しては、4名全員が志望校に合格しました。進学に伴う教育支援資金の貸付相談へと円滑につながる場面もあり、日ごろからの保護者や生徒とのかかわりを活かすことができました。

学習支援員には、主に大学生に参加いただいています。自らの近い将来の姿と重なる大学生とのかかわりは、中学生が進路について考えるきっかけとなるものですが、大学生のボランティア登録が増えないことが令和2年度までの課題でした。そこで、令和3年度は、新たにボランティア募集サイト「activo」の利用をはじめたところ、14名のボランティア登録に結びつき、大きな効果がみられました。京都府下の大学に出向き、ボランティア募集をしていた以前と比べ、宇治市で暮らす大学生の応募が多いことも「activo」の特徴です。

その一方で、新型コロナウイルスの感染予防のため、新たに参加いただいている大学生の交流会を開催できず、どのような経緯でボランティアをはじめたか、どのような想いで学習支援員として活動しているかを共有する、福祉活動へのきっかけづくりとなる場を設けられていないことが課題となっています。

### (学習支援事業の開催状況)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施回数	7 (2)	0 (8)	3 (5)	10	8 (4)	0 (8)	8	9	8	10	11	10	84 (27)
参加人数 のべ	35	0	18	48	49	0	94	117	110	110	132	111	824
学習支援員 のべ	19	0	17	34	19	0	43	47	43	45	50	46	363

※ ( ) 内の数字は、新型コロナウイルス感染症の影響により事業を中止した回数

### (学習支援事業の実施推移)

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
回数	95	92	84
参加人数(のべ)	712	653	824
学習支援員(のべ)	327	319	363

※令和3年度は、生徒宅にのべ13回、のべ18名の見守り訪問を行いました。

## 第4章 法人運営及び財務運営の強化に努めます

社会福祉法人としての法人運営の強化を図るとともに、当会活動の広報周知に努めます。また、地域福祉を展開していくために必要な財源基盤の強化として、従来からの会員募集や自動販売機の設置拡充を図るとともに、積極的な助成金の活用や遺贈等の働きかけ等、新たな財源確保の方法について検討します。

(目標と実施した取組み)

### 1. 時代に即した法人運営の強化

宇治  
社協

目 標／時代に即した社会福祉協議会の運営を進める。

取組み／三役会の実施

理事会の実施

評議員会の実施

定期監査の実施

社会福祉法人としての組織強化や当会の広報周知、地域福祉推進のための財源づくり、働き方改革などの時代の情勢に応じた法人運営を行いました。

#### (1) 三役会、理事会、評議員会の実施

正副会長会(三役会)、理事会、評議員会、監査、評議員選任・解任委員会を適宜開催しました。新型コロナウイルス感染拡大防止の対策のため、オンラインによる出席が可能となるよう工夫しました。なお、理事会(4月)、評議員会(5月、10月)に関しては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、決議の省略を行いました。

#### (三役会の開催状況)

三 役 会	第1回:令和3年 4月28日(水) 13:30~17:00	総合福祉会館
	第2回:令和3年 6月 2日(水) 13:30~17:00	総合福祉会館
	第3回:令和3年 8月18日(水) 13:30~17:00	総合福祉会館
	第4回:令和3年10月12日(火) 9:00~12:00	総合福祉会館
	第5回:令和3年11月25日(木) 9:00~12:00	総合福祉会館
	第6回:令和4年 1月11日(火) 9:00~12:00	総合福祉会館
	第7回:令和4年 2月15日(火) 9:00~12:00	総合福祉会館

#### (理事会・評議員会の開催状況)

理 事 会	第1回:令和3年4月27日(火)(決議の省略)
	①定款の変更について
	第2回:令和3年5月17日(月) 13:30~15:30
	出席理事12名(内、1名オンライン参加)/出席監事1名
	①評議員の選任候補者の推薦について

<ul style="list-style-type: none"> <li>②評議員選任・解任委員会運営規程の一部改正について</li> <li>③評議員選任・解任委員会の開催について</li> <li>④令和2年度事業報告について</li> <li>⑤令和2年度社会福祉事業拠点区分資金収支決算について</li> <li>⑥令和2年度収益事業拠点区分資金収支決算について</li> <li>⑦令和3年度社会福祉事業拠点区分資金収支予算補正について</li> <li>⑧理事候補者の選定について</li> <li>⑨監事候補者の選定について</li> <li>⑩評議員選任・解任委員の選任について</li> <li>⑪指定寄附金の配分について</li> <li>⑫理事会の開催について</li> </ul>
<p>第3回:令和3年6月11日(火)15:15~16:00 出席理事14名(内、2名オンライン参加)/出席監事1名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①代表理事(会長)、副会長及び常務理事の選定について</li> <li>②定款の変更について</li> <li>③第177回評議員会の開催について</li> </ul>
<p>第4回:令和3年12月7日(火)10:00~12:15 出席理事9名/出席監事1名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①令和3年度社会福祉事業拠点区分資金収支予算補正案について</li> <li>②目的指定寄附の配分について</li> <li>③電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程の制定について</li> <li>④社会福祉法人宇治市社会福祉協議会経理規程の一部改正について</li> <li>⑤社会福祉法人宇治市社会福祉協議会福祉コミュニティスペース利用要綱の制定について</li> <li>⑥第178回評議員会の開催について</li> </ul>
<p>第5回:令和4年3月10日(木)10:00~11:55 出席理事13名(内、2名オンライン参加)/出席監事1名(オンライン参加)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①理事候補者の選定について</li> <li>②職員就業規則の一部改正について</li> <li>③職員給与規程の一部改正について</li> <li>④嘱託職員退職手当等取扱規程の一部改正について</li> <li>⑤職員の育児休業、介護休業、労働の制限及び短時間勤務等に関する規程の一部改正及び雇用環境の整備等について</li> <li>⑥個人情報保護規程の一部改正について</li> <li>⑦令和3年度社会福祉事業拠点区分資金収支予算補正案について</li> <li>⑧目的指定寄附の配分について</li> <li>⑨令和4年度事業計画案について</li> <li>⑩令和4年度社会福祉事業拠点区分資金収支予算案について</li> <li>⑪令和4年度収益事業拠点区分資金収支予算案について</li> <li>⑫第179回評議員会について</li> <li>⑬役員等賠償責任保険契約について</li> </ul>
<p>第6回:令和4年3月30日(水)15:55~16:10 出席理事15名/出席監事2名(内、1名オンライン参加)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①常務理事の選定ならびに職務及び権限について</li> </ul>

評 議 員 会	<p>第1回 評議員会(175回):令和3年5月24日(月)(決議の省略)</p> <p>&lt;議案&gt;</p> <p>①定款の変更について</p>
	<p>第2回 定時評議員会(第176回):令和3年6月11日(金)13:30~14:49</p> <p>出席評議員26名(内、オンライン出席者5名)／出席理事12名(内、オンライン出席者2名)／出席監事1名</p> <p>&lt;議案&gt;</p> <p>①令和2年度事業報告の承認について</p> <p>②令和2年度社会福祉事業拠点区分資金収支決算の承認について</p> <p>③令和2年度収益事業拠点区分資金収支決算の承認について</p> <p>④令和3年度社会福祉事業拠点区分資金収支予算補正の承認について</p> <p>⑤理事の選任について</p> <p>⑥監事の選任について</p>
	<p>第3回 評議員会(第177回):令和3年10月26日(火)(決議の省略)</p> <p>&lt;議案&gt;</p> <p>①定款の変更について</p> <p>※ただし、評議員全員の同意を得られなかったため、議決に至らなかった。</p>
	<p>第4回 評議員会(第178回):令和4年1月18日(火)10:00~10:50</p> <p>出席評議員25名(内、オンライン出席者7名)／出席理事11名(内、オンライン出席者2名)／出席監事2名(内、オンライン出席者1名)</p> <p>&lt;議案&gt;</p> <p>①定款の一部変更について</p> <p>②令和3年度社会福祉事業拠点区分資金収支予算補正の承認について</p> <p>※ただし、①は出席評議員が3分の2に満たなかったため、議決に至らなかった。</p>
	<p>第5回 評議員会(第179回):令和4年3月30日(水)14:00~15:45</p> <p>出席評議員29名(内、オンライン出席者9名)／出席理事13名／出席監事2名(内、オンライン出席者1名)／オブザーバー参加1名</p> <p>&lt;議案&gt;</p> <p>①定款の一部変更について</p> <p>②理事の選任について</p> <p>③令和3年度社会福祉事業拠点区分資金収支予算補正について</p> <p>④令和4年度事業計画案について</p> <p>⑤令和4年度社会福祉事業拠点区分資金収支予算案について</p> <p>⑥令和4年度収益事業拠点区分資金収支予算案について</p>

**(評議員選任・解任委員会)**

実施日	令和3年6月10日(木)13:30~14:39
出席者	評議員選任・解任委員3名
内容	① 委員長の選出について ② 評議員(第1号から第5号まで)の選任について(38名)

**(期末監査)**

実施日	令和3年5月11日(火)13:30~15:00
出席者	出席監事2名／出席理事1名
内容	① 令和2年度 業務監査 ② 令和2年度 財務監査

(中間監査)

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大状況を鑑み中間監査は実施しませんでした。

宇治  
社協

2. 財源づくりの強化に向けた取組み

目 標／収支バランスなど、今後の適切な法人運営に向けた財源のあり方を検討する。

取組み／会員（住民会員、施設会員、団体会員、賛助会員）の募集の実施

1㎡のできる社会貢献事業（収益事業）による飲料用自動販売機設置の拡充

寄附金の受入れと基金の適正運用

遺贈等の積極的な受入れ

(1) 会員募集の増強

令和3年度の会員募集実績は、令和2年度に比べ70万円余りの減額となりました。コロナ禍で、自治会、町内会の活動自粛の影響もあり、特に住民会費額が大幅な減額となりました。各学区福祉委員会との連携により、取組みのなかった自治会、町内会に対して、会員募集協力への再依頼の強化が必要です。専属担当がない中、福祉活動財源を継続的に確保・増強するため、基本的な事務処理や会員管理の仕組み等の見直しや改善を図ることが必要です。

(令和3年度 会員募集の状況) (単位 円)

	当会の会費・寄附金
令和元年度	12,458,359
令和2年度	11,245,116
令和3年度	10,471,120

(令和3年度 会員種別ごとの状況)

(単位:円)

	住民会費	寄附金※	賛助会費	事業所会費	団体会費	施設会費	特別賛助会費
令和元年度	8,537,000	1,422,592	210,667	888,000	544,600	306,000	549,500
令和2年度	8,450,500	1,225,064	104,644	301,000	399,908	306,000	458,000
令和3年度	7,419,500	1,425,170	99,300	401,000	455,700	215,000	455,450

※この表に記載の寄附金額は、住民会員募集時の1口500円に満たないご協力をいただいた額の合計のため、決算書記載の経常経費寄附金の額とは異なります。

## (2) 1㎡でできる社会貢献(自動販売機設置事業)の推進

企業等の社会貢献を進める観点から様々な法人や事業所、地域の学区福祉委員会等のご協力を得ながら飲料用自動販売機を設置しています。令和3年度は、新たに山城福祉会様からのお申し出により新規設置ができました。しかし、コロナ禍で全体的に自販機の売上実績が減少しています。木幡公民館は、売上実績が伸びず、維持費用の方が上回っていたため、設置業者より打診があり、やむなく撤去に至りました。今後の設置台数の増数は、厳しい状況にあります。

### (自動販売機手数料収益実績)

(単位:円)

	設置場所	総額
1	(株)ミヤモト	108,983
2	旦椋公会堂	167,622
3	開地域福祉センター	93,420
4	東宇治地域福祉センター	144,925
5	桑田建設	68,974
6	リエゾン宇治おおくぼ	107,532
7	リジェール柳田	207,235
8	マークアップ大久保	109,005
9	デイサービスみやび	96,947
10	ユニチカユニオン宇治	118,112
11	木幡公民館	21,306
12	ハーモニー東風館	25,872
13	総合福祉会館	15,409
14	あさくら診療所	132,722
15	まごころ西宇治	75,902
16	神明神社	126,987
17	地域福祉支援センター宇治小倉	117,821
18	宇治市役所西側駐輪場	145,126
19	個人私有地(西笠取)	98,461
20	山城福祉会	15,426
合 計		1,997,787

### (自動販売機設置事業の推移)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
台数	20	20	20
金額(円)	2,224,797	2,175,749	1,997,787

## (3) 寄附金の受入れと「ふれあい基金」「ボランティア基金」「災害時支援活動準備金」の適正運用

様々な方から寄附を受入れ、「ふれあい基金」「ボランティア基金」の運用による財源確保に努めました。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、流通段階で余剰が発生した食品を、子ども食堂などの支援に役立てて欲しいという申し出がありました。総額は増加しています。



## (寄附金・寄附物品の推移)

(下段:円)

年度	ふれあい 基金寄附	災害時支援活動 準備金※1	目的指定寄附	寄附物品
	件数・金額	件数・金額	件数・金額	件数・内容
令和元年度	15件 494,498	2件 14,130	2件 266,000	11件 車いす、はがき・切手、 スチールラック、いす他
令和2年度	28件 510,243	1件 3,000	4件 240,000	17件 玄米、りんご、菓子、マスク・タオル、 机他
令和3年度	10件 639,862	1件 3,000	4件 260,000	12件 りんご、筆記用具、車いす、他

※会館窓口ふくろう募金等、複数回寄付先は1件とカウント。ポスト投函による寄附2件あり。

※災害時支援活動準備金は、社協会費の2%分を含まず、目的指定寄附として受けた分のみ掲載。

## (各基金運用実績)

(単位:円)

年度	ふれあい基金			
	運用益、債券売却益	基金積立	基金取崩し	基金額
令和元年度	12,431,207	1,993,936	0	198,968,929
令和2年度	561,506	1,609,312	0	200,578,241
令和3年度	597,280	1,739,862	0	202,318,103

年度	ボランティア基金	
	運用益、債券売却益	基金額
令和元年度	2,877,606	121,788,928
令和2年度	266,814	121,788,928
令和3年度	272,304	121,788,928

## 3. 多角的な広報の取組み



目 標／地域福祉活動や生活課題、社会課題を広く周知し、地域福祉への関心を高める。

取組み／広報紙の発行

洛タイ新報への掲載による「月イチうじピョンの〇〇な話」の連載

SNS やホームページによる広報の展開

当会の活動や地域福祉活動・ボランティア活動に取り組んでいる団体、施設等の情報を社協だよりの発行や、SNS 等を活用した広報、洛タイ新報様のご協力による記事掲載などにより、地域福祉活動や当会の活動を知らない人たちに向け、情報を発信してきました。

(広報紙「社協だより」の発行)

実施日	①6月15日号 ②9月15日号 ③3月15日号
場 所	市内約 80,000 世帯にポスティング
目 的	当会事業の周知および各種団体、活動情報の集約と発信
内 容	<p>①特集:新型コロナウイルス感染症の影響により、お困りの世帯を支援しています(コロナ特例貸付)／社会福祉協議会って、なにしているところ?(事業計画から当会の紹介)／令和2年度会員募集協力団体・事業所の紹介</p> <p>②特集:赤い羽根共同募金(助成先事例紹介)／災害義援金受付中／共同募金助成事業(具体的取り組み)の紹介(宇治学区サロン交流会・宇治市介護者(家族)の会「ほのぼのタイム」・音訳、点訳ボランティア養成講座)／新たな地域福祉活動拠点が始動(愛称募集)／B型(地域参加型)リハビリ教室(利用者募集)／宇治市介護者リフレッシュ事業(参加者募集)／うじピョンの「地元に出かけよう」(催し物紹介)／令和2年度決算、令和3年度予算</p> <p>③特集:つながる、つなげる～地域の学区福祉委員会での取り組みから～／学区福祉委員募集／住民会員募集中／各種相談窓口の紹介／備品貸し出し／Hot!ふれあいサロン事業助成金募集／赤い羽根コラボ助成金募集／うじピョンの「地元に出かけよう」(催し物紹介)／1㎡でできる社会貢献事業／寄付・遺贈相談受付中</p>
実施して	<p>令和2年度は、掲載を見合わせていた「うじピョンの地元に出かけよう」(催し物紹介)は、徐々にその数が増えて(戻って)きました。当会が実施する取り組み、地域の団体が実施する取り組みのいずれも、長引くコロナ禍も相まって、バランスよく掲載することの困難さを抱えた1年でした。</p> <p>予定された定期発行スケジュールに立ち、多くの読者に響く取り組みや地域のできごと等を伝えるために、より多くの内外の知見を効率よく得ながらの紙面づくりが求められます。</p>

(月イチうじピョンの〇〇な話の掲載)

実施日	毎月末(不定期)
目 的	当会の認知度の向上および、市民に地域福祉・ボランティア活動を伝える。職員の「伝える力」の資質向上
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民会員募集について</li> <li>・介護予防普及啓発事業 ボランティア研修会</li> <li>・在宅高齢者介護者リフレッシュ事業</li> <li>・想いが繋ぐ、誰も取り残されない地域づくり～福祉サービス利用援助事業の実例から～(実習生)</li> <li>・赤い羽根共同募金</li> <li>・地域で力を活かせる活動(実習生)</li> <li>・宇治市子どもの学習支援事業「うじピョンの学び舎」のご紹介～学び舎は、誰にとっての「居場所」?～</li> <li>・ツナガリの大切さは世代を超える～大学生の集いの場「yooSely rabbits」はじまりました～</li> </ul>
実施して	<p>洛タイ新報のご厚意によって掲載をいただいています。告知記事を中心とする掲載内容は、期日が間に合わないなどもあり、より地域福祉の活動のエピソードやそこにかかわる人の思いなどを伝える工夫が必要です。より地域福祉の推進として、職員が何を伝えていくのかを再確認し、次年度以降も継続していきます。</p>

#### 4. 人材育成の取組み

宇治  
社協

目 標／社協役職員としての資質向上を図る。

効率かつ効果的な福祉実践への専門性の強化

取組み／職員研修の実施

役員研修の実施

##### 【職員研修】

日 時	全体研修会／令和3年10月27日(水) 18:00~20:00
目 的	職員の資質向上を目的に、普段から「コミュニケーション」という言葉を多用しているが、コミュニケーションとは何かを改めて考える機会にする。また、障がい者理解や障がい者福祉と普段の業務とのかかわりを見出し、地域福祉へとどう展開するかを考える。
内 容	①職員全体研修会～手話に学び、コミュニケーションに学ぶ～ 講師 一般社団法人手話エンターテイメント発信団 <sup>おいおい</sup> oioi ②グループに分かれての手話学習 講師 宇治市ろうあ協会、宇治手話通訳者協会
実施して	手話学習をするにあたり、コミュニケーションについて学ぶ機会を設けました。また、手話の内容も実際の窓口業務等で活用できる内容を検討いただいたことで、早速実践する職員の姿もありました。コロナ禍でもあり、全体ではなく少人数で手話学習を行ったことにより、学びを職員間で共有するような場面もありました。改めて、コミュニケーションについて学びあうことができました。



手話を通じたコミュニケーションを学ぶ研修の様子

##### 【役職員研修】

日 時	令和3年9月13日(月) 10:00~12:00
目 的	役職員の資質向上
内 容	オンライン併用研修 講演と対話 テーマ 「私たちはどんな地域づくりをめざすのか」 講師 加藤博史 副会長
実施して	当初は、評議員会後の研修として企画しましたが、緊急事態宣言下となり、評議員にはオンラインのみの参加とさせていただきました。加藤副会長の講演の後、「対話」において、評議員や理事と「人づくり」「地域づくり」についての意見交換ができ、同じテーブルで対話を重ねていくことの大切さを学びました。

## 5. 宇治福祉まつり検討委員会の開催

目 標／地域福祉の推進を図る取組みとしての福祉まつりのあり方を検討する。  
取組み／宇治福祉まつり検討委員会の設置と開催

令和元年度に福祉まつりの中止を決定した際に、30年以上続くイベントの中での成果を見直し、時代に即した実施、「協働」と「参画」を促進していくことでより一層の地域福祉の推進につながっていくものをめざしたイベントのあり方を検討する委員会として「宇治福祉まつり検討委員会」が設置されました。

特に令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、多くの地域での行事イベントが中止を余儀なくされてきました。従来の宇治福祉まつりは、多くの来場者が楽しめる催しが中心であり、「三密」を避けることができないものでありました。令和3年度も宇治福祉まつりは実施せず、事務局から時機を見て再度協議の場を持つことになりました。しかしながら、コロナ禍で多くの地域福祉活動がこれまでのような活動ができない状況にあります。加えて、新型コロナウイルス感染症も収束が見通せません。そのことを踏まえ、福祉まつり検討の会合（令和4年3月1日）においても、令和4年度での取組みの見直しが提言されました。しかし、この会合においては、これまでの福祉まつりが培ってきた福祉の価値の創造とそれを盛り上げる人たちとのネットワークは、失ってはならないことも確認され、令和5年度以降、形を変えて取り組むことができるように、準備を進めていくことも併せて確認されました。

## 6. 総合福祉会館の管理運営

目 標／地域福祉活動の拠点として市民に活用してもらいやすい施設運営を目指す。  
取組み／老人福祉センターの運営（入浴施設等の利用）

貸館の運営

利用者アンケートの実施

総合福祉会館の管理

令和3年度は、令和2年度に引続き緊急事態宣言やまん延防止等重点措置を受け休館や時間短縮を行いました。そして三密をさけるために、部屋や風呂の利用人数制限を行いました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、利用者に手洗い及び消毒の徹底を呼びかけ、CO2センサーや空気清浄機を利用したお部屋環境で利用できるようにしました。

施設面では、大広間の舞台床面を改修し安全に利用できるようにしました。

### （総合福祉会館団体利用状況）

（単位：名）

	会館 日数	1階利用計		2階利用計		3階利用計		合計	
		団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数
令和元年度	286	787	6,582	2,005	33,954	1,113	19,312	3,905	59,848
令和2年度	254	302	1,602	1,953	20,627	1,028	12,589	3,283	34,818
令和3年度	220	400	1,662	1,867	20,055	1,256	15,078	3,523	36,795

※1階：身体障害者福祉センター、2階：老人福祉センター、3階：福祉センター

(老人福祉センター個人利用人数) (単位:名)

	男性	女性	合計
令和元年度	1,988	1,777	3,765
令和2年度	1,853	745	2,598
令和3年度	2,562	1,562	4,124

(浴室利用者数) (単位:名)

	男性	女性	合計
令和元年度	1,831	1,866	3,697
令和2年度	973	661	1,634
令和3年度	2,130	1,545	3,675

7. 宇治市共同募金委員会の運営と赤い羽根共同募金運動、歳末助け合い募金運動の実施

目 標／共同募金運動の展開を通じて寄附文化の醸成を図る。



取組み／運営委員会の実施

審査委員会の実施

推進会議の実施

赤い羽根共同募金運動、歳末助け合い募金の展開

10月1日から3月31日まで展開される赤い羽根共同募金(種別:戸別、グループ、個人、街頭、資材、学校、その他)と、12月1日から12月31日まで展開される歳末たすけあい募金運動を様々な方法で市民に周知しました。

運動を進めるにあたり、宇治市共同募金委員会の事務局として、運営委員会を3回(対面1回、オンライン併用2回)実施して、コロナ禍での募金活動について協議を行いました。新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点から、令和3年度も街頭募金運動を中止したことを受け、募金推進会議は、対面開催1回となりました。

また、共同募金の配分の透明性を担保するために、審査委員会を3回(対面1回、オンライン併用2回)実施して、共同募金の地域での需要や求められる役割について協議しました。

例年同様、民間のこども園や保育園を通じての組立式募金箱による募金活動や、小中学校での募金箱の設置を通じて、子どもたちや子どもを持つ親世代への募金協力を呼びかけました。

(募金実績) (単位:円)

	一般募金	歳末募金	合計
令和元年度	10,776,739	7,408,463	18,185,202
令和2年度	9,797,885	6,855,584	16,653,469
令和3年度	9,313,780	6,690,566	16,004,346

(各委員会の開催状況)

運 営 委 員 会	<p>第1回:令和3年7月1日(木)10:30~12:00                  場所:宇治市総合福祉会館※オンライン併用                  参加者:運営委員:16名(委任状含む) 監事:1名                  ①補欠運営委員・補監事の選任                  ②令和3年度事業・決算・監査報告                  ③令和3年度行動計画について                  ④サロン助成金・赤い羽根コラボ助成金審査結果報告                  ⑤歳末たすけあい募金配分金の一部配分先の変更について                  (サロン助成金予算の一部をDV被害者支援団体への助成に変更)</p>
	<p>第2回:令和3年11月26日(水)14:30~15:30                  場所:宇治市総合福祉会館                  参加者:運営委員:15名(委任状含む) 監事:1名                  ①次期運営委員、監事の選任について                  (任期:令和3年12月1日~令和5年11月30日)・宇治市共同募金委員会会則の一部変更                  ②郵便局の窓口払込手数料・硬貨取扱手数料への対応について                  ③令和3年度募金運動実施状況について</p>
	<p>書面審議:令和3年12月1日(水)                  ①宇治市共同募金委員会 会長・副会長の互選について                  ※各運営委員が書面により、会長、副会長を指名する互選にて決定</p>
審 査 委 員 会	<p>第3回:令和4年3月8日(火)14:00~15:30                  場所:宇治市産業会館 多目的ホール                  参加者:運営委員:22名(委任状含む) 監事:2名                  ①次期審査委員の選任について                  ②令和4年度事業計画(案)について                  ③令和4年度 予算(案)                  ④令和3年度宇治市共同募金委員会活動状況について                  ⑤令和3年度事業への配分執行状況について(令和2年度募金)                  ⑥令和4年度事業への配分について(令和3年度募金)</p>
	<p>第1回:令和3年6月18日(金)10:00~12:00                  場所:宇治市総合福祉会館※オンライン併用                  参加者:審査委員5名                  ①市内団体の助成申請に関する審査及び意見交換                  ②令和3年度募金配分先についての意見交換→DV被害者支援団体への配分方針を決定</p>
	<p>第2回:令和4年1月6日(木)14:00~15:00                  場所:宇治市総合福祉会館                  参加者:審査委員4名                  ①宇治市共同募金委員会 新運営委員・監事及び会長・副会長について                  ②赤い羽根コラボ助成金 新規事業助成 追加申請に関する審査                  ③DV被害者支援団体への助成審査                  ④令和3年度募金運動状況について                  ⑤令和3年度事業への募金配分状況について(令和2年度募金の配分)</p>



募 金 推 進 会 議	第1回:令和4年2月1日(火)14:00~15:00 場所:宇治市産業会館 大会議室 参加者:33 団体・32 名 ①令和3年度募金運動状況の報告 ②参画団体による意見交換
----------------------------	--